

県営スポーツ施設のあり方に関する報告書

令和6年9月
岩手県文化スポーツ部

目 次

はじめに	1
第1章 スポーツ施設の現状	2
1 県営スポーツ施設の状況	
2 県内公立スポーツ施設の状況	
第2章 スポーツを取り巻く環境	5
1 国の第3期スポーツ基本計画の策定	
2 県内での大規模大会の開催や本県出身アスリートの活躍	
3 新型コロナウイルス感染症の影響	
第3章 県におけるスポーツ振興の基本方針（第2期岩手県スポーツ推進計画）	6
1 策定の趣旨	
2 計画の位置づけ	
3 計画の期間	
4 目指す姿	
5 施策の基本的な方向	
第4章 県営スポーツ施設に関する課題	8
1 施設・設備の著しい老朽化	
2 市町村との連携や役割分担	
3 将来人口の展望を踏まえた整理・統合	
第5章 県営スポーツ施設に係る基本的考え方	9
1 県民がスポーツに親しむ環境の確保	
2 競技力の向上を担う施設の整備	
3 全国規模の競技会等を開催できる施設の確保	
4 将来人口の展望や県財政を踏まえた施設マネジメント	
第6章 県営スポーツ施設の今後のあり方	10
1 岩手県営運動公園	11
2 岩手県営体育館	20
3 岩手県営スケート場	22
4 岩手県勤労身体障がい者体育館	23
5 岩手県立御所湖広域公園艇庫	25
6 岩手県営スキージャンプ場	27
7 岩手県営武道館	28
8 岩手県営屋内温水プール	29
9 スポーツ医・科学センター	30
10 多目的屋内練習施設	30
資 料	
1 県営スポーツ施設一覧	33
2 岩手県公共施設等総合管理計画の概要	59
3 岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画（第1版）の概要	61
4 スポーツ医・科学センター及び多目的屋内練習施設について	64
5 近隣県等のスポーツ医・科学拠点及び併設施設等	67
6 県営スポーツ施設のあり方に関する懇談会構成員名簿	68

県営スポーツ施設のあり方について

はじめに

本県の県営スポーツ施設は、その多くが昭和45年度に開催された岩手国体の会場として使用されるために整備された施設であり、経年とともに施設・設備の老朽化が進行している状況にある。

岩手県文化スポーツ部が所管する公共施設については、具体の対応方針を定める計画として、令和3年2月に、「岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画」を策定し、計画的な維持管理・長寿命化の推進に取り組んできた。

一方、平成28年度の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会、令和元年度のラグビーワールドカップ2019釜石開催、令和4年度のいわて八幡平白銀国体を契機として、また、東日本大震災津波からの復興の取組により、市町村が整備したスポーツ施設が充実したことも踏まえ、スポーツ施設についての県・市町村の連携や役割分担等を考慮し、老朽化した県営スポーツ施設の整理・統合等を検討する必要がある。

また、東日本大震災津波の影響により整備計画が凍結されたスポーツ健康科学センター（本報告書では、「スポーツ医・科学センター」とする。）及び多目的屋内練習施設については、前回（平成29年度）の県営スポーツ施設のあり方の検討において、「競技力向上や生涯スポーツの振興、また、冬期間のフィールド練習環境の整備の観点から県営の施設として整備することが望ましい。一方、整備計画は、東日本大震災津波により凍結されていることから、改めて、その整備のあり方について、検討を行うことが望ましい。」とされたことから、当該施設のあり方も検討する必要がある。

令和4年7月に改訂された本県の公共施設等管理に関する基本計画である「岩手県公共施設等総合管理計画」においては、将来の人口減少や今後の財政見通しを踏まえ、公共施設の維持管理及び行政サービスの提供を持続可能なものとしていくため、公共施設の施設規模・総量の適正化に関する目標が新たに盛り込まれたところである。

こうした状況を踏まえ、県営スポーツ施設全体の規模や配置、機能等の適正化を図るため、県営スポーツ施設のあり方に関する懇談会において、有識者から多角的な視点による意見を聞きながら、人口減少に伴う利用状況の変化、中期的な整備・維持管理コストの見通し、市町村との連携や役割分担等を考慮し、県営スポーツ施設の今後のあり方を報告書として示すものである。

第1章 スポーツ施設の現状

1 県営スポーツ施設の状況

(1) 現有の施設

(設置時期順、経過年数は令和6年3月現在)

施設名	設置時期	経過年数	延床面積(m ²)	所在地
① 岩手県営運動公園	S41 (1966).6	57年	6,012.99	盛岡市みたけ
陸上競技場、補助競技場	S41 (1966).6	57年		
テニスコート	S42 (1967).7	56年		
サッカー・ラグビー場	S43 (1968).10	55年		
野球場	S44 (1969).3	55年		
スポーツクライミング競技場	H10 (1998).3	26年		
② 岩手県営体育館	S42 (1967).6	56年	6,343.37	盛岡市青山
③ 岩手県営スケート場	S47 (1972).11	51年	3,405.20	盛岡市みたけ
④ 岩手県勤労身体障がい者体育館	S52 (1977).3	47年	1,269.50	盛岡市青山
⑤ 岩手県立御所湖広域公園艇庫	S58 (1983).9	40年	1,224.70	盛岡市繫
⑥ 岩手県営スキージャンプ場	S60 (1985).12	38年	—	八幡平市矢神
⑦ 岩手県営武道館	S61 (1986).9	37年	7,719.51	盛岡市みたけ
弓道場、相撲場	S61 (1986).9	37年		
大道場、柔道場、剣道場	H2 (1990).2	34年		
⑧ 岩手県営屋内温水プール	H5 (1993).12	30年	6,248.60	雫石町長山
⑨ いわて盛岡ボールパーク	R5 (2023).4	-	20,910.19	盛岡市永井

※ 延床面積は、建築面積100㎡以上の施設の合計面積。各施設の概要については、資料1参照のこと。

(2) 整備計画凍結中の施設

施設名	施設概要 (H22.3施設整備計画の概要)
スポーツ健康科学センター 多目的屋内練習施設	<p>ア 建設予定地 県営運動公園サッカー場(現在のサッカー・ラグビー場の第2グラウンド)</p> <p>イ 施設整備の規模</p> <p>(ア) 多目的屋内練習施設 建築面積 約12,000㎡ アリーナは人工芝、練習用直走路(タータン)</p> <p>(イ) スポーツ健康科学センター 建築面積 約2,300㎡ トレーニング室、測定室、メンタルトレーニング室、メディカルチェック室、医療相談室等</p>

①岩手県営運動公園
陸上競技場



サッカー・ラグビー場
(第1グラウンド)



補助競技場



サッカー・ラグビー場
(第2グラウンド)



テニスコート



野球場



スポーツクライミング競技場



第1ボルダリング競技場 (屋外)



第1ボルダリング競技場 (屋内)



第2ボルダリング競技場



第3ボルダリング競技場



リード競技場



スピード競技場

②岩手県営体育館



③岩手県営スケート場



④岩手県勤労身体障がい者
体育館



⑤岩手県立御所湖広域公園
艇庫



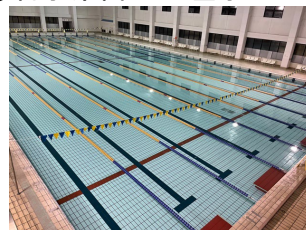
⑥岩手県営スキージャン
プ場



⑦岩手県営武道館



⑧岩手県営屋内温水プール



2 県内公立スポーツ施設の状況

(令和4年4月1日現在)

区 分	規模等基準	所在市町村数	施設数
運動広場A	陸上競技場及び球技場等 敷地面積10,000㎡以上	33	170
運動広場B	多目的運動広場 敷地面積1,000㎡以上	22	66
コート	屋外のテニスコート等	28	86
野球場	外野フェンス等設置	30	71
体育館	床面積720㎡以上	33	229
水泳プール	管理室、更衣室等設置	23	46
柔剣道場	柔道場、剣道場	22	36
弓道場	弓道の試合が可	12	14
相撲場	標準規格の土俵	12	20
学校体育施設開放施設(屋内照明施設)	地上面の平均照度50ルクス以上	23	126
学校体育施設開放施設(クラブハウス)	更衣室、シャワー室等設置 床面積100㎡以上	12	19
体力づくりコース	野外での身体活動の場	18	27
スキー場	リフト、ロープ塔設備	11	16
スケート場	パイピングスケートリンク	5	6
馬術場	20m×60m以上	1	1
サイクリングコース	道路幅2m程度の専用道路	7	9
漕艇場又はヨット場	救助設備を有する	5	7
キャンプ場	給水設備等を有する	27	66
ハイキングコース	道標、休憩所設置	28	87
射撃場	—	3	3
合 計			1,105

第2章 スポーツを取り巻く環境

1 国の第3期スポーツ基本計画の策定

国では、スポーツに関する総合的かつ計画的な推進を図るため、令和4年3月に、令和4年度から令和8年度までの5年間の具体的施策等を示した「第3期スポーツ基本計画」を策定した。

本計画において、スポーツを取り巻く環境や社会的状況の進展や変化を踏まえ、国民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、以下の3つの「新たな視点」が必要とされている。

- (1) 社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に対応するというスポーツを「つくる/はぐくむ」という視点
- (2) 様々な立場・背景・特性を有した人・組織が「あつまり」、「ともに」活動し、「つながり」を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指すという視点
- (3) 性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人々がスポーツにアクセスできるような社会の実現・機運の醸成を目指すという視点

2 県内での大規模大会の開催や本県出身アスリートの活躍

令和元年度に、ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催、令和3年度に、東京2020オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火フェスティバル、令和4年度に、日本スポーツマスターズ2022岩手大会、IFSCクライミングワールドカップB&Lコンバインドいわて盛岡2022、いわて八幡平白銀国体が本県で開催され、スポーツによる感動を直に感じ、県民のスポーツへの関心が高まる機会となった。

また、東京2020オリンピック競技大会や北京2022オリンピック・パラリンピック冬季競技大会では、本県出身・ゆかりの選手がメダルを獲得し、令和5年3月に開催されたワールドベースボールクラシックでは、本県出身選手が中心メンバーとして活躍し、見事世界一を勝ち取るなど、本県出身・ゆかりの選手による国内外での目覚ましい活躍が続いており、県民のスポーツに対する機運がかつてないほど高まっている。

3 新型コロナウイルス感染症の影響

令和2年から、新型コロナウイルス感染症が拡大し、多くの大会やイベント、地域における活動が中止・延期等を余儀なくされ、県民のスポーツ活動も大きな影響を受けた。

このような状況を打開するため、基本的な感染防止対策を徹底し、無観客開催や入場者数制限、デジタル技術の活用など、「新しい生活様式」の下、様々な工夫を凝らしながら、スポーツイベントや大会を開催するなど、スポーツを通じて日常を取り戻す取組を続けてきた。

第3章 県におけるスポーツ振興の基本方針 (第2期岩手県スポーツ推進計画)(令和6年3月策定)

1 策定の趣旨

スポーツの推進により、県民の幸福で豊かな暮らしが実現するよう、県民をはじめ市町村やスポーツ関連団体等と連携・協働し、県が総合的かつ計画的に取り組む施策を示した「第2期岩手県スポーツ推進計画」を令和6年3月に策定した。

2 計画の位置づけ

本計画は、「いわて県民計画(2019~2028)」第2期アクションプランに示している目標や取組等を具体化する個別計画である。

また、スポーツ基本法第10条に基づく「地方スポーツ推進計画」である。

3 計画の期間

2024(令和6)年度から2028(令和10)年度の5年間とする。

4 目指す姿

スポーツの推進による県民誰もが健やかで輝く岩手の創造

県民が日常的にスポーツを楽しむ環境づくりや、スポーツの力を地域の力に変える取組等により、県民一人ひとりが健やかでいきいきと暮らすとともに、それぞれの夢や希望が実現し、個性が光る社会の創造を目指す。

5 施策の基本的な方向

(1) ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進

県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化や運動部活動の地域移行の促進に向けた取組等により、若年期から高齢期まで、生涯を通じてスポーツを楽しむことができる環境が整い、障がいの有無に関わらず、県民誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、スポーツにより喜びを得ることで、いきいきとした生活を送ることを目指す。

(2) 共生社会型スポーツの推進

スポーツの推進により障がい者・高齢者等の配慮が必要な人々の社会参加が進み、障がいのある人もない人も、性別や年齢に関わらず、身近な地域で共に楽しむインクルーシブスポーツの創出等により、スポーツへの参画機会が拡大するとともに、スポーツにおいて女性が活躍し、県民の誰もが互いを理解・尊重しながら生きる社会の実現を目指す。

(3) 国際的に活躍する競技スポーツの推進

優れた運動能力のある選手の発掘・育成により、国民スポーツ大会等の国内大会はもとより、オリンピック・パラリンピック等の国際大会で活躍するトップアスリートを多数輩出するため、スポーツ医・科学サポートを通じて、アスリート、パラアスリートの大会・合宿への参加支援や、中長期的な視点に立った育成に取り組むとともに、最新技術やスポーツ・インテグリティに基づく指導者の育成等、サポート体制の充実を図る。

トップアスリートの活躍する姿により、県民が喜びと感動を味わうとともに、スポーツに取り組むきっかけとなり、スポーツのすそ野が拡大していくことを目指す。

(4) 地域を活性化させるスポーツの推進

本県の豊かな自然や高規格なスポーツ施設等のスポーツ資源を活用し、国内外からの誘客が図られ、交流人口が拡大するとともに、県内のトップ・プロスポーツチームと県民との一体感の醸成を図る等、県内各地にスポーツイベントやスポーツツーリズム等の国内拠点が形成されることを目指す。

また、民間企業と大学・研究機関等が連携し、スポーツ関連の製品・技術・サービス等の共同研究・開発に向けた取組が進むことにより、経済的な交流の拡大を目指す。

第4章 県営スポーツ施設に関する課題

1 施設・設備の著しい老朽化

県営スポーツ施設の維持管理においては、利用者の安全を最重点として、必要性や緊急性を考慮しながら、計画的に修繕や設備更新を行ってきているが、経年とともに施設・設備の老朽化が著しくなっており、将来にわたって長く使い続けるためには、大規模な改修等の検討が必要である。

2 市町村との連携や役割分担

平成11年の岩手インターハイ、平成28年の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会等を契機に、市町村が整備したスポーツ施設も充実してきており、本県の中核的スポーツ施設については、県営の施設だけではなく、市町村を含めた全体で担っていくよう、県・市町村の連携や役割分担の検討も必要である。

3 将来人口の展望を踏まえた整理・統合

岩手県公共施設等総合管理計画（令和4年7月改訂）では、将来人口の展望を踏まえ、2040年（令和22年）までに公共施設¹の延床面積を令和2年度比85%程度となるよう見直しを進めることとしている。

県営スポーツ施設については、施設の利用状況、人口減少・少子高齢化の進行による施設利用需要の変化等を見据え、老朽化した施設の整理・統合等により、施設規模・総量等の適正化を図る必要がある。

【人口の見通し】

本県の人口は、1960（昭和35）年に145万人と第一のピークを迎え、1985（昭和60）年に143万人と第二のピークを迎えた後、1997（平成9）年以降減少が続いており、国立社会保障・人口問題研究所が令和5年12月に公表した推計では、2040年に92万人程度、2050年には78万人程度になると試算されている。

【県財政の見通し】

本県の中期財政見通し（令和5年9月公表）によると、歳入は、人口減少等を背景とした普通交付税の減少に伴い、実質的な一般財源総額が毎年度減少していく可能性がある。歳出は、高齢化の進行等に伴う社会保障関係費の増加のほか、公債費も増加傾向に転じる見込みである。

その結果、令和6年度以降、102～153億円程度の財政収支ギャップが生じ、その全額を財政調整基金の取崩しにより対応した場合、残高は令和9年度には枯渇するなど、本県を取り巻く財政状況は一層厳しさを増す見込みである。

¹ 学校施設、病院等公営企業施設及びインフラ施設は含まない。

第5章 県営スポーツ施設に係る基本的考え方

市町村における高規格なスポーツ施設の整備等、県内施設の充実という現状や、「行政は住民に近い市町村（基礎的自治体）が第一義的に担い、県は市町村では解決できない広域的な課題などを処理する。」という、地方自治法による県と市町村の基本的な役割分担（市町村優先の原則、補完性の原理・近接性の原理）を踏まえ、県の役割として、次の考え方にに基づき、県営スポーツ施設の維持・改修等に努めることが望ましい。

1 県民がスポーツに親しむ環境の確保

生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境を、市町村と連携して確保することが重要であり、県営スポーツ施設の老朽化の程度に応じた改修等を進める必要がある。

また、施設の整備や長期の供用が見込まれる施設の改修においては、財政負担の軽減、平準化を図るとともに、ユニバーサルデザイン化²や脱炭素化³、デジタル技術の活用、施設の維持管理に要する人材の確保などを考慮しながら、スポーツ振興を図るための環境整備に取り組む必要がある。

2 競技力の向上を担う施設の整備

県は、アスリートの医・科学的なサポートや、季節や天候に左右されずにトレーニングが可能な施設の整備など、市町村では担うことが困難な県代表クラス以上のアスリート育成や競技力の向上に注力していくべきである。

ただし、市町村における特定のスポーツ振興（ホッケー、自転車等）を軸としたまちづくりや本県の特性を生かした競技の育成強化など、県営スポーツ施設についてはこうした動きも考慮しつつ検討する必要がある。

3 全国規模の競技会等を開催できる施設の確保

全国的な競技会等を開催できる水準のスポーツ施設は、競技ごとに県で少なくとも1か所以上あることが望ましく、市町村において保有していない施設機能については、補完的機能を担う県の役割として改修等を検討していく必要がある。

4 将来人口の展望や県財政を踏まえた施設マネジメントの推進

スポーツを通じた人的・経済的交流を推進するとともに、人口減少・少子高齢化の進行を踏まえながら、長期的な視点に立った公共施設等マネジメントを推進する必要があることから、岩手県公共施設等総合管理計画や岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画と整合性を図りながら、優先順位を定めて、計画的な県営スポーツ施設の改修や老朽化した施設の整理・統合等を進めていく必要がある。

² 年齢や性別、能力などにかかわらず、できる限り、すべての人が利用できるように製品や建物、空間をデザインしようとする考え方。

³ 令和5年10月に策定した「県有施設等の脱炭素化に向けた基本方針」において、①新築建築物のZEB化、②LED照明の導入、③公用車のEV化、④太陽光発電の導入等の基準に沿って県有施設等の脱炭素化を推進することとされている。

第6章 県営スポーツ施設の今後のあり方

第1章から前章までを踏まえ、ここからは県営スポーツ施設ごとに長期的な視点での今後のあり方に加え、「岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画」の改訂を見据えた当面の措置について整理していく。

いわて盛岡ボールパークについては、令和5年4月に供用開始したところであることから、本章では、いわて盛岡ボールパーク以外の施設について整理する。

県営スポーツ施設の利用者数は、人口減少や新型コロナウイルス感染症等の影響により、全体的に減少傾向である。スポーツを楽しむ機会の提供・拡充やアスリートの発掘・育成等に引き続き取り組み、県営スポーツ施設の利用拡大を図る必要がある。

なお、各施設の今後のあり方について、前章の基本的考え方のどの項目に該当するかを下記により表示している。

1 県民がスポーツに親しむ環境の確保	スポーツに親しむ環境の確保
2 競技力の向上を担う施設の整備	競技力向上を担う施設の整備
3 全国規模の競技会等を開催できる施設の確保	全国規模の競技会施設の確保
4 将来人口の展望や県財政を踏まえた施設マネジメントの推進	施設マネジメントの推進(〇〇)

1 岩手県営運動公園

(1) 陸上競技場（昭和41年6月完成、第2種公認陸上競技場）

県内に8か所ある公認陸上競技場のうち、全国規模の競技会・大会を開催できる第1種公認陸上競技場は北上陸上競技場⁴のみであり、東北規模の競技会・大会を開催できる第2種公認陸上競技場は、北上に加えて県営陸上競技場⁵のみである。

【公認陸上競技場の主な基準】

項目	第1種	第2種	第3種	第4種
開催できる競技会	国民体育大会等の全国規模大会及び国際的な競技会	加盟団体陸上競技選手権大会及び地方における競技会等	加盟団体陸上競技選手権大会等、主な競技会	加盟団体の競技会・記録会
トラックとフィールドの舗装材	全天候舗装	全天候舗装	全天候舗装	全天候舗装、土質でも可
インフィールド	天然芝	天然芝	天然芝	人工芝でも可
1周の距離	400m	400m	400m	200m、250m、300m、400m
走路	8又は9レーン	8又は9レーン	直走路は8レーン、曲走路は6レーン以上	直走路は6レーン以上、曲走路は4レーン以上
補助競技場	第3種公認陸上競技場	全天候型舗装の競技場があることが望ましい	無くても可	無くても可
収容人数	15,000人以上	5,000人以上	相当数	相当数
県内の状況	北上	県営、一関 ^{*1}	北上 ^{*2} 、金ヶ崎、宮古	花巻、遠野

※1 一関陸上競技場は、第2種公認陸上競技場であるが、補助競技場を有していないため、東北規模の競技会の開催は小規模なものを除き困難である。

※2 北上陸上競技場の補助競技場は、第3種公認陸上競技場であること。

【参考データ】

1 設置時期 昭和41（1966）年6月

2 利用状況

(1) 陸上競技場

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	188,846	81,545	47,257	58,004	121,608
利用率（%）	78.0	82.8	97.7	94.6	95.4

※ 利用率は利用日数÷開館日数（以下、この章において同じ。）

(2) 補助競技場

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	74,631	63,994	29,247	43,653	88,414
利用率（%）	83.6	90.6	94.1	81.1	86.9

⁴ 平成23年度全国高等学校総合体育大会、平成28年度の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の総合開会式や陸上競技は、北上陸上競技場で開催した。

⁵ 県営陸上競技場を第1種公認陸上競技場にするためには、補助競技場を拡張する用地が不足している。

3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	29.0億円	R2～R5実績(見込)額+R5当初予算額×27年(R6～R32)
保全費	12.6億円	個別施設計画の概算経費(R2～R32)－修繕費(管理運営費に含む) (南北ゲート改修、第2種公認更新のための改修工事等)
計	41.6億円	

※ 概算経費は、県営運動公園内にある他の施設を含めた県営運動公園全体の費用である。(以下、県立運動公園内施設において同じ。)

※ 保全費積算内容の下段()書きは、今後、当該施設において想定される主な改修工事等である。(以下、この章において同じ。)

4 県内における全国規模の大会実績

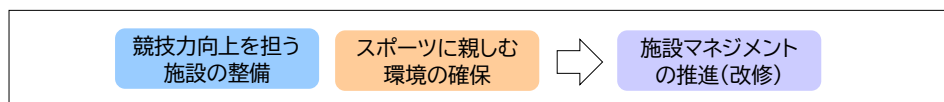
H11 インターハイ 北上陸上競技場

H28 希望郷いわて国体・いわて大会 北上陸上競技場

5 その他

県営運動公園陸上競技場は、県内トップ・プロチーム（サッカー又はラグビー）のホームスタジアム又は試合会場として利用されていない。なお、県内サッカープロチームの練習場所としては利用されている。

【今後のあり方】



全国規模の競技会・大会については、第1種公認陸上競技場である北上陸上競技場の利用が可能であるため、県営陸上競技場については、東北規模の大会を開催できる競技場の一つとして、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

なお、スタンドについては、老朽化が顕著であるため、できるだけ早期に劣化度調査等を実施し、その結果を踏まえ、改修を検討する必要がある。

【当面の措置】

東北規模の競技会・大会を開催できる県内2か所の競技場の一つであり、東北規模又は県規模の競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、第2種公認陸上競技場として維持する必要がある。

(2) テニスコート（昭和42年7月完成、平成10年オムニコート化）

県内には、県営と同様の仕様である砂入人工芝（オムニコート）のテニスコートが複数あり、県営よりも充実した施設で全国規模の競技会・大会が開催されている状況にあるが、8面以上の照明付施設は少ない状況にある。

県営は、平成11年のインターハイで硬式テニスの競技会場となったが、平成28年の希望郷いわて国体、令和4年の日本スポーツマスターズでは、テニス競技会場とならなかった。

【全国規模の競技会を開催した施設の状況】

所在地	設置者	完成年度	施設名	施設状況
盛岡市	県	S42	県営運動公園テニスコート	8面（屋外、オムニコート、夜間照明）
盛岡市	盛岡市	S53	盛岡市立太田テニスコート	16面（屋外14面、屋内2面、オムニコート、夜間照明10面）
北上市	県・北上市	H7・H9	和賀川グリーンパークテニスコート	18面（屋外、オムニコート、夜間照明8面）
八幡平市	民間	—	安比高原テニスクラブ	18面（屋外、オールウェザー（全天候型））

【参考データ】

1 設置時期 昭和42（1967）年7月

2 利用状況

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	54,247	58,511	43,949	39,901	47,171
利用率（%）	96.8	96.6	99.6	98.3	98.2

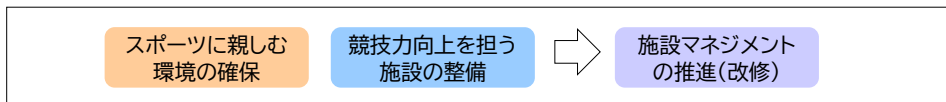
3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	29.0億円	R2～R5実績（見込）額+R5当初予算額×27年（R6～R32）
保全費	12.6億円	個別施設計画の概算経費（R2～R32）－修繕費（管理運営費に含む） （観客席修繕、人工芝改修等）
計	41.6億円	

4 県内における全国規模の大会実績

H11	インターハイ	ソフトテニス	和賀川グリーンパークテニスコート
		硬式テニス	盛岡市立太田テニスコート、県営運動公園テニスコート
H28	希望郷いわて国体	ソフトテニス	和賀川グリーンパークテニスコート
		硬式テニス	盛岡市立太田テニスコート、安比高原テニスクラブ
R4	日本スポーツマスターズ	ソフトテニス	和賀川グリーンパークテニスコート
		硬式テニス	盛岡市立太田テニスコート

【今後のあり方】



県営よりも充実した機能を備えた市町村営施設が複数あり、また、市町村営施設において全国規模の競技会・大会が開催されているものの、県規模の競技会・大会の会場として利用されており、同等（8面）以上のテニスコートは県内に限られていることから、県営の施設として維持することが望ましい。

【当面の措置】

県規模の競技会・大会を開催できる競技場の一つであり、また、一般利用も含めて需要が多いことから、施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行い、現状を維持する必要がある。

(3) サッカー・ラグビー場

(昭和43年10月完成、平成26年第1グラウンド人工芝整備)

県内には、球技場は多数あるが、観客席を有する人工芝のフィールドは少ない状況にある。

県営運動公園サッカー・ラグビー場の第1グラウンドを平成26年に人工芝に改修したが、天候に左右されずに大会や練習が可能となり、改修前と比べて利用者が大幅に増えた。

また、第1グラウンドは、平成11年のインターハイや平成28年の希望郷いわて国体で競技会場として使用した。

なお、第2グラウンドは、東日本大震災津波の影響により整備計画が凍結されたスポーツ健康科学センター及び多目的屋内練習施設の建設予定地である。

【県内の人工芝球技場】

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様	観客席
盛岡市	盛岡市	H26	盛岡市立つなぎ多目的運動場	人工芝グラウンド1面	無
紫波町	(公社)岩手県サッカー協会	H23	岩手県フットボールセンター	人工芝グラウンド1面	無
葛巻町	葛巻町	H4	葛巻町総合運動公園運動広場	人工芝インフィールド(サッカー一般1面・少年2面)	無
岩手町	岩手町	H10	岩手町総合グラウンド	人工芝グラウンド(ホッケー1面、サッカー一般1面・少年2面)	無
花巻市	花巻市	H10	花巻市スポーツキャンプむら	人工芝サッカー場1面、サブグラウンド(天然芝)3面	無
遠野市	遠野市	S43	遠野市国体記念公園市民サッカー場	サッカー場1面(人工芝)	無
一関市	一関市	H26	一関サッカー・ラグビー場	人工芝サッカー場1面(ジュニアサッカー2面、ラグビー場1面)	無
釜石市	釜石市	H25	釜石市球技場	人工芝サッカー1面、ラグビー1面	有
陸前高田市	陸前高田市	R2	高田松原運動公園	人工芝サッカー場1面、天然芝サッカー場1面	有

【参考データ】

- 設置時期 昭和43(1968)年10月
平成26(2014)年6月 ラグビー場人工芝改修
(サッカー・ラグビー場第1グラウンドに名称変更)

2 利用状況

(1) 第1グラウンド(H26～人工芝)

年度	H30	R元	R2	R3	R4	(参考)H24
利用者数(人)	88,225	89,267	55,802	56,477	61,876	52,822
利用率(%)	95.5	95.8	92.0	84.7	87.7	76.0

(2) 第2グラウンド(クレーコート)

年度	H30	R元	R2	R3	R4	(参考)H24
利用者数(人)	50,495	55,428	26,429	31,720	34,575	50,692
利用率(%)	72.4	73.6	78.1	77.6	67.7	69.9

3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	29.0億円	R2～R5実績(見込)額+R5当初予算額×27年(R6～R32)
保全費	12.6億円	個別施設計画の概算経費(R2～R32)－修繕費(管理運営費に含む) (第1グラウンド人工芝改修、観客席修繕等)
計	41.6億円	

4 県内における全国規模の大会実績

H11 インターハイ サッカー

盛岡南公園球技場、県営運動公園陸上競技場、県営運動公園サッカー・ラグビー場、雫石町営陸上競技場、県立雫石高校グラウンド、滝沢村総合公園陸上競技場

H28 希望郷いわて国体

サッカー 盛岡南公園球技場、県営運動公園陸上競技場、県営運動公園サッカー・ラグビー場、花巻市スポーツキャンプむら、滝沢村総合公園陸上競技場、遠野運動公園陸上競技場、遠野運動公園多目的運動広場

ラグビー 八幡平市ラグビー場、釜石市球技場

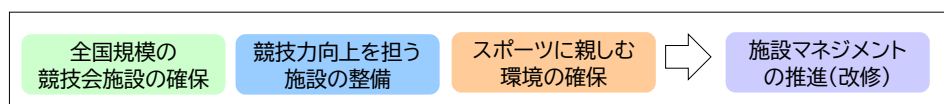
R4 日本スポーツマスターズ サッカー

遠野運動公園陸上競技場、遠野運動公園多目的運動場、遠野市国体記念公園市民サッカー場

5 その他

県営運動公園サッカー・ラグビー場は、県内トップ・プロチーム（サッカー又はラグビー）のホームスタジアム又は試合会場としての利用はされていない。

【今後のあり方】



県営よりも充実した機能を備えた市町村営施設はあるものの、観客席を有する球技場は県内に限られていることから、全国規模の競技会・大会の会場の一つとして使用してきた状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

【当面の措置】

第1グラウンド（人工芝）は、全国規模の競技会・大会を開催できる競技場の一つであり、全国規模の競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行う必要がある。

第2グラウンド（クレークート）は、整備計画が凍結されたスポーツ健康科学センター等の建設予定地ではあったが、一定の需要があることから、現状（クレークート）を維持することとし、スポーツ医・科学センターの整備の検討状況に応じ、人工芝化など機能を高めるための改修も検討する必要がある。

(4) 野球場（昭和44年3月完成）

県営運動公園野球場には、観客用スタンドがなく、広さとしても硬式野球の利用はできないが、身近な野球場として、広く近隣の住民に活用されている。

県営運動公園野球場で実施される大会は、各種軟式野球大会の地方大会や早起き野球等が実施されている。

【参考データ】

- 1 設置時期 昭和44（1969）年3月
- 2 利用状況

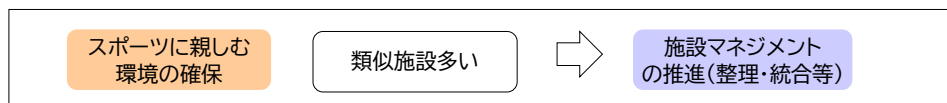
年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	23,110	19,563	7,890	6,060	12,555
利用率（%）	51.8	51.9	45.0	37.4	38.4

※ 利用率は利用日数÷開館日数

- 3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	29.0億円	R2～R5実績（見込）額+R5当初予算額×27年（R6～R32）
保全費	12.6億円	個別施設計画の概算経費（R2～R32）－修繕費（管理運営費に含む） （観客席修繕等）
計	41.6億円	

【今後のあり方】



主に住民のレクリエーションのために利用されているものの、同等以上の機能を備えた施設は県内にあり、県と市町村の基本的な役割分担を踏まえると、県営の施設として現在の施設水準を維持する必要性は高くないことから、将来は、野球場としての機能を廃止し、運動公園全体のレイアウトも考慮しながら、機能性や利便性を一層向上させるための他の用途を検討することが望ましい。

【当面の措置】

運動公園としての機能性や利便性を高めるため、他の用途を検討する必要がある。

なお、現状において、軟式野球場としての一定の需要があることから、他の用途が決まるまでは、施設設備の状況等を考慮しながら、現状を維持する必要がある。

(5) スポーツライミング競技場

(平成10年3月第3ボルダリング競技場完成、平成19年3月第2ボルダリング競技場完成、平成26年3月リード競技場完成、平成30年3月スピード競技場完成、令和2年3月第1ボルダリング競技場完成)

リード競技場及びスピード競技場は、県内で競技大会が開催できる唯一の施設であり、また、ボルダリングを含めた3種目の施設が揃う、全国でも有数の施設である。

スポーツライミングは、本県出身選手の活躍等により、県民の関心が高まっている。また、平成28年度の希望郷いわて大会や令和4年度のIFSCクライミングワールドカップ、令和6年度のスポーツライミングユース日本選手権の競技会場としても使用している。

【参考データ】

- 1 設置時期 平成10(1998)年3月 第3ボルダリング競技場
平成19(2007)年3月 第2ボルダリング競技場
平成26(2014)年3月 リード競技場
平成30(2018)年3月 スピード競技場
令和2(2020)年3月 第1ボルダリング競技場

2 利用状況

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数(人)	23,410	17,715	24,132	18,468	24,369
利用率(%)	97.5	97.2	100.0	98.8	98.3

3 個別施設計画期間(令和2年度～令和32年度)の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	29.0億円	R2～R5実績(見込)額+R5当初予算額×27年(R6～R32)
保全費	12.6億円	個別施設計画の概算経費(R2～R32) - 修繕費(管理運営費に含む) (リード競技場パネル交換等)
計	41.6億円	

4 県内における全国規模以上の大会実績

- H28希望郷いわて大会 リード 県営運動公園スポーツライミング競技場
H30第1回コンバインドジャパンカップ
スピード・リード 県営運動公園スポーツライミング競技場
ボルダリング 県勤労身体障がい者体育館
R2第33回リードジャパンカップ 県営運動公園スポーツライミング競技場
R3第4回コンバインドジャパンカップ・JMCSAスピードジャパンオープン盛岡大会
県営運動公園スポーツライミング競技場
R4IFSCクライミングワールドカップ 県営運動公園スポーツライミング競技場
R6第12回リードユース日本選手権いわて盛岡大会
第10回ボルダラーユース日本選手権いわて盛岡大会
県営運動公園スポーツライミング競技場

【今後のあり方】

全国規模の
競技会施設の確保

競技力向上を担う
施設の整備

スポーツに親しむ
環境の確保



施設マネジメント
の推進(改修)

リード、スピード及びボルダリングの三施設を備える日本有数のスポーツクライミングの拠点となっており、国際規模の競技会・大会が開催できる競技場であることから、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

なお、利便性向上のため、リード競技場やスピード競技場について、雨天対応等のための改修を検討することが望ましい。

【当面の措置】

国際規模の競技会・大会を開催できる県内唯一の競技場であり、大規模競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行う必要がある。



2 岩手県営体育館（昭和42年6月完成）

県内には、体育館は多数あるが、床面積が1,600㎡以上の体育館は県営を含めて13施設あり、そのうちサブアリーナを有する体育館は6施設である。なお、体操競技会の男女種目を一体で実施できるのは県営体育館のみである。

県営体育館で実施される競技会・大会は、県規模が多く、種目としては、バスケットボール、バドミントン、体操・新体操、ソフトテニス等である。東北規模となると、体操等が実施されたことはあるが、近年は国スポやインターハイ等の全国規模の競技会・大会の実績はない。

【県内市町村の状況（床面積1,600㎡以上）】

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様	観客席 (固定席)
盛岡市	盛岡市	H元	盛岡市総合アリーナ	フロア面積3,234㎡	3,053
盛岡市	盛岡市	H7	盛岡体育館	アリーナ1,610㎡	350
八幡平市	八幡平市	H15	八幡平市総合運動公園体育館	アリーナ1,628㎡	400
滝沢市	滝沢市	H2	滝沢総合公園体育館	アリーナ1,610㎡	404
花巻市	花巻市	H9	花巻市総合体育館	第1アリーナ2,881㎡ 第2アリーナ 760㎡ 第3アリーナ1,675㎡	2,000 80 1,970
北上市	北上市	H9	北上総合体育館	メインアリーナ2,172㎡ サブアリーナ748㎡	2,000 —
奥州市	奥州市	H9	奥州市総合体育館	メインアリーナ3,235㎡ サブアリーナ839㎡	3,000 220
一関市	一関市	H10	一関市総合体育館	メインアリーナ2,551㎡ サブアリーナ921㎡ ステージ285㎡	2,000 53 —
宮古市	宮古市	H8	宮古市民総合体育館	アリーナ1,925㎡ 多目的体育室670㎡	1,008 —
陸前高田市	陸前高田市	H29	陸前高田市総合交流センター	多目的ホール1,794㎡ アリーナ950㎡	774
久慈市	久慈市	H16	久慈市民体育館	アリーナ2,042㎡	1,150
二戸市	二戸市	H4	二戸市総合スポーツセンター	アリーナ1,680㎡	216

【参考データ】

1 設置時期 昭和42（1967）年6月

2 利用状況

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	81,678	62,024	39,985	41,241	57,909
利用率（%）	100.0	100.0	98.7	100.0	98.2

3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

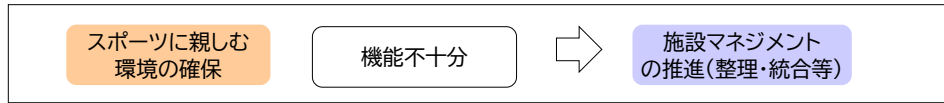
区分	概算経費	積算内容
管理運営費	10.8億円	R2～R5実績（見込）額+R5当初予算額×27年（R6～R32）
保全費	8.9億円	個別施設計画の概算経費（R2～R32）－修繕費（管理運営費に含む） （雨水排水管改修等）
計	19.7億円	

4 県営体育館における全国規模の大会実績
実績なし

5 その他

県営体育館は、県内トップ・プロチーム（バスケットボール）のホームアリーナ又は試合会場としての利用はされていない。

【今後のあり方】



体操競技会の男女種目を一体で実施できる県内唯一の体育館であり、県規模の競技会・大会が開催されるなど一定の需要はあるものの、県営よりも充実した機能を備えた市町村施設が複数あり、担う役割や今後の市町村施設の改修状況等を踏まえた検討が必要となる。

長期的に維持する場合、バリアフリー化や空調等の機能性が不十分であることから、同様の機能を有する県営施設を集約化し、ユニバーサルデザイン化や脱炭素化等の機能を備えた体育館整備について、検討することが望ましい。

なお、施設を集約化を図る場合は、人口減少を踏まえ、体操をはじめとした様々な競技会・大会やスポーツ活動を通じて、あらゆる人々が集まる交流拠点としての機能も併せて検討する必要がある。

【当面の措置】

県営体育館と同様の機能を有する県勤労身体障がい者体育館の集約化、高機能の体育館整備を検討する必要がある。

なお、体育館整備の方向性が決まるまでは、現施設については、施設設備の状況等を考慮しながら、現状を維持する必要がある。

3 岩手県営スケート場（昭和47年11月完成）

県内のスケート場は、県営スケート場、盛岡市アイスリンク、花巻市石鳥谷アイスアリーナ、一関市千厩アイスアリーナ、二戸市県北青少年の家があるが、400mのスピードリンクを有するのは県営スケート場のみである。

県営スケート場で実施される競技会・大会は、国スポ冬季大会や全日本選抜スピードスケート競技会盛岡大会のほか県内規模の競技会・大会である。

スピードスケート施設を保有する道県は、本県含めて10道県⁶であることから、全国規模の競技会・大会に関しては、全日本選抜スピードスケート競技会のほか、インターハイのスケート（スピードスケート）競技会が10年に1回程度の開催が想定され、令和6年度にはインターハイのスケート競技会の開催が予定されている。

【参考データ】

- 1 設置時期 昭和47（1972）年11月
400mスピードリンク、アイスホッケー・フィギアリンク2面

- 2 利用状況

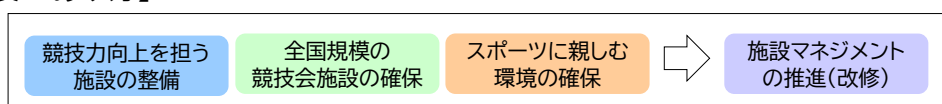
年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	30,226	24,447	23,184	21,742	21,661
利用率（%）	44.3	54.3	50.0	40.5	43.2

- 3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	25.4億円	R2～R5実績（見込）額＋R5当初予算額×27年（R6～R32）
保全費	7.6億円	個別施設計画の概算経費（R2～R32）－修繕費（管理運営費に含む） （防水改修、各種設備・備品の修繕・更新）
計	33.0億円	

- 4 県営スケート場における全国規模の大会実績（過去3回程度）
全日本選抜スピードスケート競技会（H30以降） H30、R元、R3、R5
全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 H15、H27、R6（予定）

【今後のあり方】



400mのスピードリンクを有する県内唯一の施設であり、アスリート育成や競技力向上の観点から、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

なお、県営スケート場を維持するに当たり、できるだけ早期にターボ冷凍機等を修繕・更新する必要がある。

【当面の措置】

概ね10年パンで開催されるインターハイや国スポなど、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえ、適時、改修等を行う必要がある。

⁶ スピードスケート施設を保有する道県は、北海道、青森県、岩手県、山形県、福島県、群馬県、栃木県、山梨県、長野県、岐阜県の10道県である。

4 岩手県勤労身体障がい者体育館（昭和52年3月完成）

身体障がい者の方が利用しやすいよう施設内に自動扉や広いトイレを設置するなど、身体障がい者の方が安全に使用できるよう配慮した施設であるが、近年は年齢や障がいの有無に関わらず、広く近隣の住民等が活用している。

なお、障がい者等を含めた県営のスポーツ・レクリエーション活動施設「ふれあいランド岩手」が盛岡市内にあることから、障がい者を対象とした競技会・大会には利用されていない。

また、県営スポーツ施設の中では、唯一、県有地以外（盛岡市有地）に設置している施設である。

【参考データ】

- 1 設置時期 昭和52（1977）年3月
- 2 利用状況

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数(人)	12,869	25,091	24,109	22,244	24,932
うち障がい者	3,003	6,961	5,747	5,081	5,477
うち障がい者以外	9,866	18,130	18,362	17,163	19,455
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

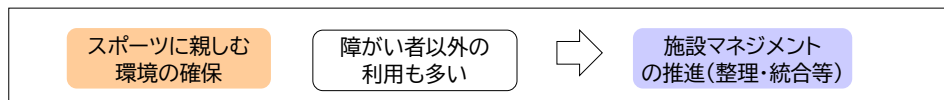
※ H30は耐震改修等工事による6か月の休館期間あり

- 3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	7.3億円	R2～R5実績(見込)額+R5当初予算額×27年(R6～R32)
保 全 費	1.8億円	個別施設計画の概算経費(R2～R32)－修繕費(管理運営費に含む) (玄関自動ドア改修、アリーナ床研磨等)
計	9.1億円	

- 4 県勤労身体障がい者体育館における大会実績
H30第1回コンバインドジャパンカップ ボルダリング
※ 障がい者スポーツの県規模以上の大会開催実績なし

【今後のあり方】



障がい者の団体利用数及び利用者数は、安定的に推移していることから、県内の障がい者スポーツ振興のためにも長期的に県営の施設として維持することが望ましいものの、長期的に維持する場合、施設・設備の改修コストが多額となる。

障がい者以外の利用も多いことを考慮すると、同様の機能を有する県営施設を集約化し、ユニバーサルデザイン化や脱炭素化等の機能を備えた体育館整備について、検討することが望ましい。

なお、施設を集約化の検討においては、体育館の障がい者の優先利用などに配慮する必要がある。

【当面の措置】

県勤労身体障がい者体育館と同様の機能を有する県営体育館を集約化し、高機能の体育館整備について検討し、体育館整備の方向性が決まるまでは、施設設備の状況等を考慮しながら、現状を維持する必要がある。

また、現施設の用地は、盛岡市有地であることから、用途廃止後の利活用策については、盛岡市とも連携・調整しながら検討する必要がある。

5 岩手県立御所湖広域公園艇庫（昭和58年9月完成）

県内においてボート競技会又はカヌー競技会を開催できる施設（漕艇場）は、花巻市（田瀬湖）、西和賀町（錦秋湖）及び御所湖のみである。

これまでも、全国規模の競技会・大会として、ボート競技は田瀬湖で、カヌー競技（スプリント）は御所湖を中心に実施され、錦秋湖では県規模の両競技会・大会が実施されている。

なお、近年、大雨等により河川から流入した湖底堆積物が増加しており、その処理が課題となっている。（御所ダムの湖底堆積物の処理については、国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所の所管であること。）

【公認コースの主な基準】

項目	A級	B級	C級
開催できる競技会	全日本級大会 地方予選会	全日本級大会 地方予選会	地方予選会
レーンの長さ	2000m	2000m、1500m、1000m	2000m、1500m、1000m
レーンの数	6レーン以上	5レーン以上	3レーン以上
各ブイ間の間隔	最初の100mは5m、残りは10.0～12.5m	12.5～25.0m	50～100m
県内の状況	—	田瀬湖（2000m・8レーン） 御所湖（2000m・6レーン）	錦秋湖（1000m・4レーン）

【参考データ】

1 設置時期 昭和58（1983）年9月

2 利用状況

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	8,950	8,342	6,918	5,780	6,389
利用率（%）	96.2	98.8	96.6	99.3	99.4

3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

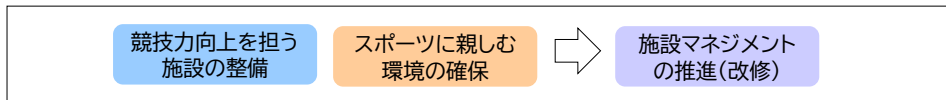
区分	概算経費	積算内容
管理運営費	5.5億円	R2～R5実績（見込）額＋R5当初予算額×27年（R6～R32）
保全費	3.6億円	個別施設計画の概算経費（R2～R32）－修繕費（管理運営費に含む） （コースロープ更新、艇庫シャッター更新等）
計	9.1億円	

4 県内における全国規模等の大会実績

H11	インターハイ	ボート	花巻市田瀬湖ボート場
H23	北東北インターハイ	ボート	花巻市田瀬湖ボート場
H28	希望郷いわて国体	ボート	花巻市田瀬湖ボート場
		カヌー（スプリント）	県立御所湖広域公園艇庫
R5	北東北インターハイ	ボート	花巻市田瀬湖ボート場
		カヌー（スプリント）	月山湖カヌースプリント競技場（山形県）

※ カヌー（スプリント）は県立御所湖広域公園艇庫での開催が予定されていたが、悪天候により会場変更されたもの

【今後のあり方】



県内に2か所の日本ローイング協会公認B級ボートコース漕艇場の一つであり、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

【当面の措置】

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行う必要がある。

なお、湖底堆積物が増加していることから、公認コースの維持について検討する必要がある。

6 岩手県営スキージャンプ場

(昭和60年12月完成、平成7年ミディウム整備、平成22年スモール整備)

サマージャンプ台として県内唯一の施設であり、夏場における選手強化の練習施設として活用されている。

年に1度、北海道、東北、長野、富山のジュニアアスリートが参加するジュニアサマージャンプ大会が開催されている。

【参考データ】

- 設置時期 昭和60(1985)年12月
平成7(1995)年12月 ミディウムヒル(50m) 全面改修(競技規則変更による)
平成22(2010)年12月 スモールヒル(25m) 整備

2 利用状況

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数(人)	511	467	300	470	612
利用率(%)	35.3	35.4	20.4	44.5	53.0

3 個別施設計画期間(令和2年度～令和32年度)の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	1.0億円	R2～R5実績(見込)額+R5当初予算額×27年(R6～R32)
保全費	1.5億円	個別施設計画の概算経費(R2～R32)－修繕費(管理運営費に含む) (音声装置更新等)
計	2.5億円	

【今後のあり方】

競技力向上を担う
施設の整備

全国規模の
競技会施設の確保

スポーツに親しむ
環境の確保



施設マネジメント
の推進(改修)

県内唯一のサマースキージャンプ施設であり、アスリート育成や競技力向上の観点から、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

なお、県営スキージャンプ場を維持するに当たり、できるだけ早期に人工芝改修を行う必要がある。

【当面の措置】

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行う必要がある。

7 岩手県営武道館

(昭和61年9月弓道場・相撲場完成、平成2年2月大道場・柔道場・剣道場完成)

県内には、弓道場、相撲場、柔道場、剣道場は多数あるが、大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設であり、これまでも全国規模を含めた各種競技会・大会を実施している。

なお、県内の公立弓道場のうち、遠的がある弓道場は県営武道館と水沢弓道場のみである。

また、大道場は、武道以外のスポーツ活動やプロレス興行などにも利用されている。

【参考データ】

- 1 設置年度 昭和 61 (1986) 年 9 月 弓道場 (近的・遠的) ・相撲場
平成 2 (1990) 年 2 月 大道場・柔道場・剣道場

- 2 利用状況

年度	H30	R元	R 2	R 3	R 4
利用者数 (人)	183, 917	168, 735	72, 097	86, 776	118, 491
利用率 (%)	79. 2	77. 9	72. 8	73. 5	79. 0

- 3 個別施設計画期間 (令和 2 年度～令和32年度) の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	16. 2億円	R 2 ～R 5 実績 (見込) 額 + R 5 当初予算額 × 27 年 (R 6 ～R 32)
保 全 費	11. 2億円	個別施設計画の概算経費 (R 2 ～R 32) - 修繕費 (管理運営費に含む) (中央監視設備更新等)
計	27. 4億円	

- 4 県内における全国規模の大会実績

H11 インターハイ

柔道：盛岡市アイスアリーナ 弓道：県営武道館弓道場
空手道：大船渡市民体育館 剣道：二戸市総合スポーツセンター
相撲：西根町民体育館

H28 希望郷いわて国体

柔道：久慈市民体育館 弓道：水沢弓道場
空手道：県営武道館大道場 剣道：二戸市総合スポーツセンター
相撲：八幡平市総合運動公園体育館

R 4 日本スポーツマスターズ

空手：県営武道館

【今後のあり方】

全国規模の
競技会施設の確保

競技力向上を担う
施設の整備

スポーツに親しむ
環境の確保



施設マネジメント
の推進(改修)

大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設であり、全国規模の競技会・大会を開催している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

なお、県営武道館を維持するに当たり、できるだけ早期に冷暖房設備及びLED照明設備を整備する必要がある。

【当面の措置】

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行う必要がある。

8 岩手県営屋内温水プール（平成5年12月完成）

平成5年度に、雫石地域地熱熱水供給事業実証調査のために建設した施設であり、プールの熱源として熱水を利用していたが、平成17年度末で実証調査が終了したことから、平成19年に、木質バイオマスのいわて型チップボイラーと地下水利用型ヒートポンプを組み合わせた複合設備として整備した。

当該施設は、50m公認プールのほか、流水プールやウォータースライダーがあり、合宿利用のほか、近隣住民等に利用されている。

県内には、50m公認プールや屋内温水プールが複数あり、県内で開催される競技会・大会は市町村営プールで開催されている状況にあり、当該施設の競技会・大会利用は限定的である。

【参考データ】

1 設置年度 平成5（1993）年12月

2 利用状況

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数（人）	45,305	40,170	36,591	24,601	26,314
うち7～9月	22,098	17,864	14,238	11,920	13,150
うちその他	23,207	22,306	22,353	12,681	13,164
利用率（％）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

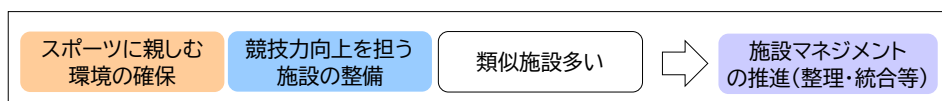
3 個別施設計画期間（令和2年度～令和32年度）の概算経費

区分	概算経費	積算内容
管理運営費	27.0億円	R2～R5実績（見込）額＋R5当初予算額×27年（R6～R32）
保全費	6.2億円	個別施設計画の概算経費（R2～R32）－修繕費（管理運営費に含む） （空調設備更新、防水等改修工事、温水ボイラー更新等）
計	33.2億円	

4 県内における全国規模の大会実績

H28 希望郷いわて国体 盛岡市立総合プール
R4 日本スポーツマスターズ 盛岡市立総合プール

【今後のあり方】



住民のレクリエーションのために利用されているほか、大会や合宿のために一定の利用がされているものの、大会利用も限定的であり、県と市町村の基本的な役割分担を踏まえると、県営の施設として維持する必要性は高くないことから、民間や地元自治体における活用を検討し、民間等において施設の活用（譲渡）見込みがない場合は、施設を廃止することが望ましい。

【当面の措置】

民間や地元自治体の意向も踏まえながら、施設の利活用策（譲渡）を検討する。

なお、住民のレクリエーション等に一定の需要があることから、用途廃止するまでは、施設設備の状況等を考慮しながら、現状を維持する必要がある。

9 スポーツ医・科学センター

10 多目的屋内練習施設

平成22年3月に多目的屋内練習施設等整備基本構想を策定し、県営運動公園サッカー場（現在の県営運動公園サッカー・ラグビー場第2グラウンド）に整備することとして、基本設計まで実施したが、東日本大震災津波の発災により、現在まで整備計画が凍結されている。

なお、平成28年度の希望郷いわて国体に向けた選手強化のため、平成25年度から県営スケート場内にスポーツ医・科学の暫定的な拠点を設置し、体力測定や実技講習会等の事業を実施している。

屋内練習施設については、県内では、令和5年4月に供用開始したいわて盛岡ボールパーク内に、屋内練習場を整備した。

近隣の道県におけるスポーツ医科学施設は、秋田県が県直轄で、北海道や青森県がスポーツ協会に指定管理等で運営している。秋田県では、スポーツ医科学施設を併設した新県立体育館を令和10年秋に開館する予定である。

【多目的屋内練習施設等整備基本構想に係る参考データ】

1 基本構想策定の趣旨

平成28年の2巡目国体の開催において、本県が開催県に相応しい成績を収めるためには、選手強化が喫緊の課題であり、国体開催を契機とした選手の競技力向上、指導者の資質向上等を図るため、また、県民の生涯スポーツ、健康づくりの振興を推進するため、スポーツ・健康科学の機能を併設した「多目的屋内練習施設」の整備を進めること。

2 施設整備計画の概要

- ・建設予定地 県営運動公園サッカー場
- ・施設整備の規模 多目的屋内練習施設 12,000 m²
スポーツ健康科学センター2,300 m² 計 約 14,300 m²
- ・練習可能競技種目 主に屋外の競技種目の練習が実施可能な施設
- ・各施設の主な整備内容 多目的屋内練習施設：アリーナは人工芝、練習用直走路（タータン）
スポーツ健康科学センター：トレーニング室、測定室、メンタルトレーニング室、メディカルチェック室、医療相談室、パフォーマンス室（小体育館、フローリング） など

【スポーツ医・科学拠点の現況】

1 体制（令和6年度）

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 競技スポーツ担当 5名

2 活動拠点

県営スケート場食堂棟2階（盛岡市）
※学校や市町村体育施設等への出前事業が中心

3 現有設備

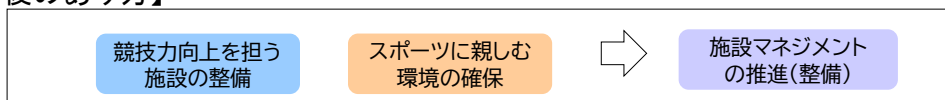
反応時間測定器、垂直とび測定器、自転車エルゴメーター、握力計、背筋力計、体成分分析装置、ジャンプ計測・運動能力評価システム、映像分析ソフトウェアシステム等

【県内の主な屋内練習施設】

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	県・盛岡市	R4	いわて盛岡ボールパーク屋内練習施設・トレーニングルーム	フィールド50m×50m（人工芝）、フットサルコート2面对応、防球ネット付、トレーニングルーム等
花巻市	富士大学	H25	富士大学スポーツセンター	屋内300mトラック、多目的練習場、トレーニングルーム、コンディショニングルーム等

○ スポーツ医・科学センター

【今後のあり方】



スポーツ医・科学の知見に基づくアスリートの育成、最新技術やスポーツ・インテグリティに基づく指導者の育成等、サポート体制の充実が求められており、競技力向上を図る観点から、本県におけるスポーツ医・科学の拠点として整備することが望ましい。

スポーツ医・科学の知見を活用した県民の健康づくりの拠点の必要性も併せて検討する必要がある。

なお、整備に当たっては、県営体育館及び県勤労身体障がい者体育館の集約など他の施設との併設と併せて検討する必要がある。また、県内のスポーツ関係団体の利用や合宿所機能の必要性についても検討する必要がある。

【当面の措置】

スポーツ医・科学の知見に基づく競技力向上を主な目的としつつ、県民の健康づくりの支援機能も併せ持つ施設として、県営体育館及び県勤労身体障がい者体育館の集約化と併せて整備を検討する。

なお、県営体育館等を集約しない場合は、他の施設を活用した整備を検討する。

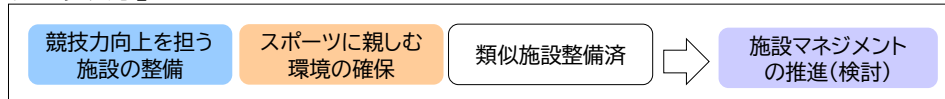
新たなスポーツ医・科学拠点が整備されるまでの間は、現在の拠点（県営スケート場食堂棟2階）の機能を維持する必要がある。

【参考】求められる機能（必要な施設・設備の概要）

機能	施設・設備
① メディカルチェック	医師面談室、医師控室、医学検査室（HPSC推奨器具、骨密度計測器）
② フィジカル・フィットネス/チェック（体力測定）	体力測定室（HPSC推奨器具）、トレーニングジム（トレーニング器具）、簡易プール、簡易走路
③ トレーニングサポート	フィットネスホール（小体育館）、実技指導室
④ 心理サポート	メンタル指導室
⑤ 栄養サポート	簡易調理室
⑥ 動作分析、レース・ゲーム分析、映像・ITサポート	撮影専用室（高画質カメラ、大型モニター）、分析室（パソコン）
⑦ トレーナー活動	トレーナー処方室、処方ベッド
⑧ 研修室	会議室

○ 多目的屋内練習施設

【今後のあり方】



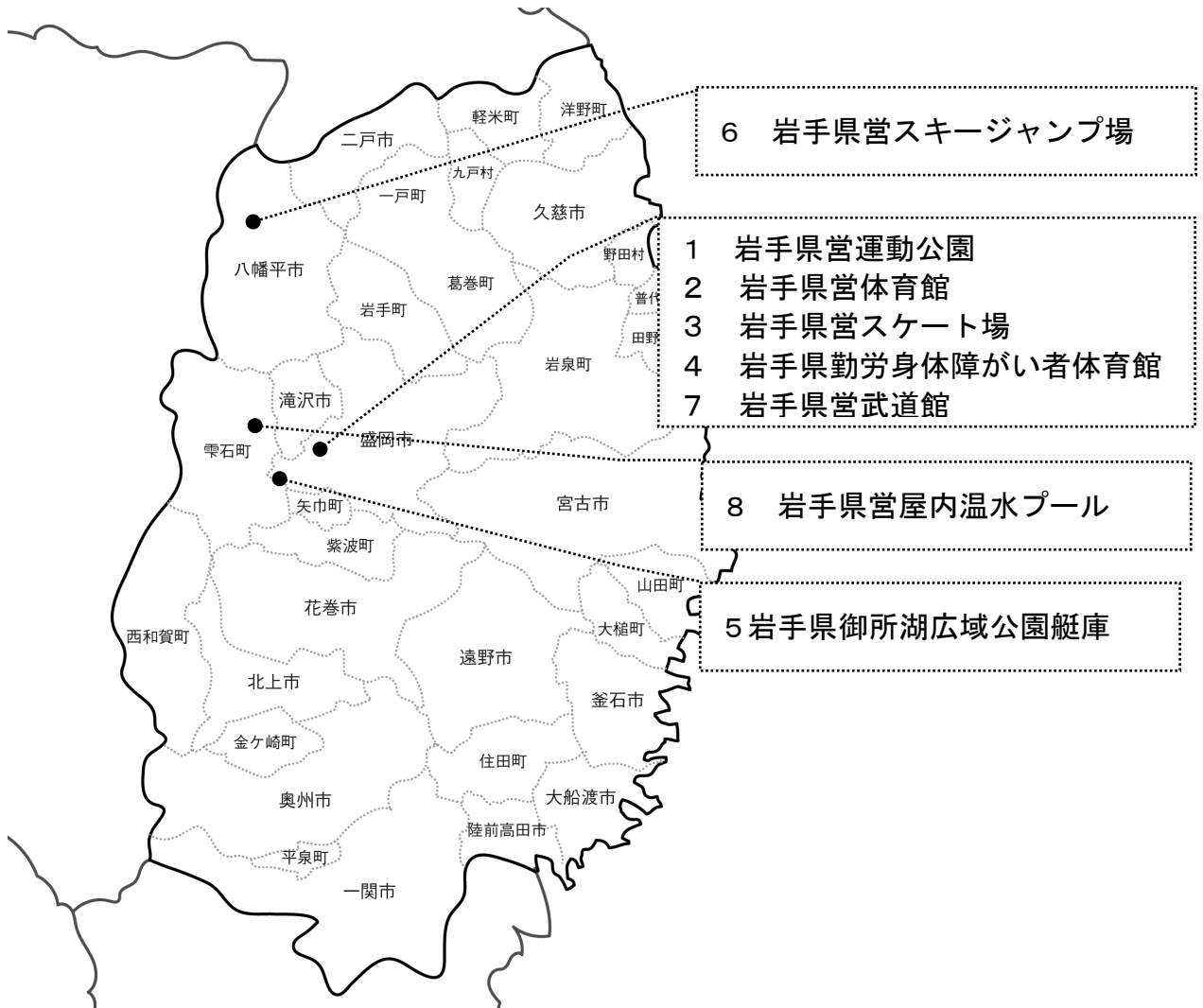
いわて盛岡ボールパークの屋内練習場をはじめ、県内に屋内練習施設があり、冬期間のフィールド練習環境整備の観点からは、県営の施設として新たに整備する必要性は高くないことから、県営施設として整備する必要性を十分に検討する必要がある。

【当面の措置】

いわて盛岡ボールパークの屋内練習場の利用状況を踏まえ、屋内練習施設の増設の需要が高まった場合は、改めてあり方について検討する必要がある。

資料 1

県営スポーツ施設一覧



1 岩手県営運動公園

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市みたけ一丁目10-1（県有地・都市計画区域内・第二種住居地域）
条例等上の設置目的	生涯スポーツの推進 体育、スポーツ・レクリエーション指導者の養成及び活用促進 ※ 設置目的は、スポーツ基本法制定（平成23年）以前に条例等で制定したものであることから、将来的に条例改正等を検討していくこととする。（他施設同じ。）
設置時期等	昭和41（1966）年6月設置 経過年数57年（法定耐用年数45年（RC造スタンド））
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積243,737㎡ ○陸上競技場（昭和41（1966）年6月完成） 第2種陸上競技場、400m×8コース、全天候舗装、収容人員30,000人、スタンド、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、照明施設（照度400ルクス） ○補助競技場（昭和41（1966）年6月完成） 300m×7コース、一部シンダー ○テニスコート（昭和42（1967）年7月完成） オムニコート8面、収容人員1,000人、照明施設（照度200ルクス） ○サッカー・ラグビー場第1グラウンド（昭和43（1968）年10月完成） 160m×90m、人工芝1面、収容人員4,000人、照明施設（照度200ルクス） ○サッカー・ラグビー場第2グラウンド（昭和43（1968）年10月完成） 160m×90m、クレーコート1面、収容人員4,000人、照明施設（照度200ルクス） ○野球場（昭和44（1969）年3月完成） 軟式野球場1面、収容人員4,000人 ○登はん競技場等（平成10（1998）年3月完成） 屋内競技場2面、屋内練習場1面、屋外競技場2面 ○その他：日本庭園、児童遊園、交通公園 ○駐車場：普通車781台、軽自動車47台
指定管理者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団（指定管理期間R5～R9）
施設概況	岩手県のスポーツ施設の中核。昭和45年岩手国体の会場として陸上競技場を整備。平成11年にインターハイ会場としてサッカー場を改修。平成19年にボルダリングルームを整備。

(2) 施設改修履歴

ア 陸上競技場

年度	改修内容	改修費等（千円）
S41	陸上競技場・補助競技場完成	330,000
S45	バックスタンド建設工事	99,325
S50	フィールド走路全天候舗装	36,646
S53	走路全天候舗装整備（補助競技場と同時整備）	136,495
S54	メインスタンド雨漏防止、客席取替	28,390
S60	多目的フィールド改修工事	39,999
S61	写真判定ビデオレコーダー設置	10,000
H元	トラック等改修工事（補助競技場と同時改修）	94,206
H4	スタンド改修工事	18,606

H6	第1種公認更新工事	22,738
H7	メインスタンド屋根等改修工事	33,069
H8	バックスタンド観客席改修工事	30,496
H10	機械・電気設備改修、メインスタンド耐震改修及び防水工事、バックスタンド化粧直し、会議室等内装改修	363,594
H11	第1種公認更新工事	40,437
H12	バックスタンド外壁塗装	4,750
H13	外周側溝改修工事	9,612
H15	メインスタンド屋根補修工事	5,130
H16	第1種公認更新工事（メイントラック走路ライン等補修、3000m固定障害物補修、用器具庫整備）	78,193
H17	給水設備等改修工事	47,775
H22	第2種公認改修工事	339,745
	照明設備設置工事	111,279
H26	第2種公認改修工事	40,644
H28	非常用発電設備更新	6,315
	フィールド等改修工事	41,586
R元	第2種公認改修工事	135,970
R4	自動火災報知設備更新工事	3,748
	計	2,108,748

イ 補助競技場

年度	改修内容	改修費等（千円）
S53	走路整備（陸上競技場と一体で整備）	(136,495)
H16	トラック全天候型舗装（エンボス、クレイ）工事、付帯設備改修、インフィールド芝生補修	(79,193)
	計	(215,688)

ウ テニスコート

年度	改修内容	改修費等（千円）
S42	テニスコート完成	27,000
S53	夜間照明施設整備	23,987
H3	コート改修	70,286
H10	コート全面改修	112,050
H26	テニスコート改修	62,420
	計	295,743

エ サッカー・ラグビー場

年度	改修内容	改修費等（千円）
S43	サッカー・ラグビー場完成	80,000
S55	ラグビー場改修（表土取替、暗渠排水、盛土スタンド新設）	17,092
H元	夜間照明施設整備	94,197
H5	サッカー場グラウンド暗渠排水改修・表土取替	112,256
H6	ラグビー場改修（表土取替、暗渠排水、盛土スタンド新設）	116,219
H7	更衣室等改修	103,788
H10	散水施設改修	26,572
H21	ラグビー場他照明安定器取替	7,969

H26	ラグビー場人工芝改修工事	225,492
H28	観覧席擁壁改修工事	4,515
R4	第1グラウンド擁壁改修工事	4,665
	計	792,765

オ 野球場

年度	改修内容	改修費等(千円)
S43	野球場完成	15,000
H7	グラウンド改修	64,324
	計	79,324

カ スポーツライミング競技場

年度	改修内容	改修費等(千円)
H9	登はんボード整備	32,152
H18	ボルダリングルーム整備	28,140
H25	リード競技場他改修工事	135,797
H28	ボルダリング改修工事	11,650
H29	スピード施設新築	103,423
R元	ボルダリング施設新築工事	345,357
R2	第2ボルダ換気設備改修工事	451
	計	656,970

キ その他

- ・ R2～R5：運動公園内の樹木伐採を実施
- ・ R2：運動公園内既設外灯LED化工事を実施

(3) 収支の状況(単位：千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						期間平均
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度		
収入	利用料金	17,330	17,543	16,339	17,387	16,863	19,290	17,484
	県委託料	86,757	90,770	89,206	93,905	95,045	100,480	93,881
	小計	104,087	108,313	105,545	111,292	111,908	119,770	111,365
支出	人件費	36,313	36,011	41,048	42,696	46,453	40,885	41,473
	需用費	31,419	26,480	24,908	27,436	30,377	30,595	27,959
	役務費	2,264	3,732	3,488	4,001	3,765	2,767	3,551
	委託費	31,485	28,491	28,936	28,982	29,901	30,682	29,398
	その他	4,311	5,973	6,516	7,256	6,755	7,427	6,731
	小計	105,792	100,687	104,896	110,371	117,251	112,356	109,112
収支差額	△1,705	7,626	649	921	△5,343	7,414	2,253	

(4) 主な類似施設

ア 陸上競技場(第1種・第2種公認陸上競技場)

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
北上市	北上市	H9	北上陸上競技場	第1種公認、400mトラック9レーン 収容人員23,000人
一関市	一関市	H7	一関運動公園陸上競技場	第2種公認、400mトラック8レーン

イ 補助競技場（公認陸上競技場）

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
北上市	北上市	H9	北上陸上競技場	第3種公認、400mトラック8レーン

ウ テニスコート

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
八幡平市	民間	—	安比高原テニスクラブ	18面（屋外、オールウェザー（全天候型））
北上市	県・北上市	H7・H9	和賀川グリーンパークテニスコート	18面（屋外、オムニコート、夜間照明付8面）
盛岡市	盛岡市	S53	盛岡市立太田テニスコート	16面（屋外14面、屋内2面、オムニコート）
一関市	一関市	H元	一関運動公園テニスコート	16面（屋外、オムニコート、夜間照明）
宮古市	宮古市	R2	グリーンピア三陸みやこテニスコート	16面（屋外12面（ハード）、屋内4面）
花巻市	花巻市	H15	日居城野テニスコート	8面（屋外、オムニコート、夜間照明）
花巻市	県	S62	花巻広域公園テニスコート	8面（屋外、ハードコート）
陸前高田市	県	R2	県野外活動センターテニスコート	8面（屋外、サンドグラス、夜間照明）
一戸町	一戸町	H11	一戸町総合運動公園テニス場	8面（屋外、オムニコート、夜間照明）

エ サッカー・ラグビー場

(ア) 天然芝

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様	入場可能数	観客席	プロ利用
盛岡市	県	S40	県営運動公園陸上競技場	天然芝多目的競技場・球技場（第2種公認陸上競技場）	30,000	有	
北上市	北上市		北上総合運動公園陸上競技場	天然芝多目的競技場・球技場（第1種公認陸上競技場）	23,000	有	○
盛岡市	盛岡市	H10	盛岡南公園球技場	天然芝グラウンド2面、Jリーグ基準照明（1面）	4,946	有	● □
滝沢市	滝沢市		滝沢総合公園陸上競技場	天然芝多目的競技場・球技場	6,850	有	
紫波町	紫波町	S53	紫波運動公園陸上競技場	天然芝多目的競技場・球技場	6,400	有	
釜石市	釜石市	H30	釜石鶴住復興スタジアム	メイングラウンド1面（天然芝）、サブグラウンド1面（砂利）	6,000	有	■
八幡平市	八幡平市	S63	八幡平市ラグビー場	天然芝グラウンド5面（ラグビー専用2面）	—	無	
花巻市	花巻市	H18	日居城野陸上競技場	天然芝多目的競技場・球技場（第4種公認陸上競技場）	—	有	
北上市	北上市	H9	北上総合運動公園第1・第2運動場（ラグビーサッカーグラウンド）	天然芝3面、人工芝1面	—	無	

遠野市	遠野市	H2	遠野運動公園陸上競技場	天然芝多目的競技場・球技場(第4種公認陸上競技場)	—	有	
宮古市	県	H11	へいがわ老木公園多目的グラウンド	天然芝グラウンド2面(サッカー場1面、ラグビー場1面)	—	有	

※ プロ利用：いわてグルージャ盛岡(J3)のホームスタジアム(●)又は試合会場(○)、日本製鉄釜石シーウェイブス(DIVISION2)のホームスタジアム(■)又は試合会場(□)

(イ) 人工芝

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様	入場可能数	観客席
盛岡市	盛岡市	H26	盛岡市立つなぎ多目的運動場	人工芝グラウンド1面	—	無
紫波町	(公社)岩手県サッカー協会	H23	岩手県フットボールセンター	人工芝グラウンド1面	—	無
葛巻町	葛巻町	H4	葛巻町総合運動公園運動広場	人工芝インフィールド(サッカー一般1面・少年2面)	5,000	無
岩手町	岩手町	H10	岩手町総合グラウンド	人工芝グラウンド(ホッケー1面、サッカー一般1面・少年2面)	—	無
花巻市	花巻市	H10	花巻市スポーツキャンプむら	人工芝サッカー場1面、サブグラウンド(天然芝)3面	—	無
遠野市	遠野市	S43	遠野市国体記念公園市民サッカー場	サッカー場1面(人工芝)	—	無
一関市	一関市	H26	一関サッカー・ラグビー場	人工芝サッカー場1面(ジュニアサッカー2面、ラグビー場1面)	—	無
釜石市	釜石市	H25	釜石市球技場	人工芝サッカー1面、ラグビー1面	—	有
陸前高田市	陸前高田市	R2	高田松原運動公園	人工芝サッカー場1面、天然芝サッカー場1面	—	有

オ 野球場

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	県・盛岡市	R4	いわて盛岡ボールパーク	両翼100m、中堅122m
滝沢市	滝沢市	H7	滝沢総合公園野球場	両翼93m、中堅120m
八幡平市	八幡平市	H13	八幡平市総合運動公園野球場	両翼92m、中堅122m
花巻市	花巻市	H8	花巻球場	両翼92m、中堅120m
北上市	北上市	H2	北上市民江釣子野球場	両翼92m、中堅122m
一関市	一関市	H3	一関運動公園野球場	両翼97.5m、中堅122m
陸前高田市	陸前高田市	R2	高田松原運動公園第一野球所	両翼99m、中堅122m
久慈市	久慈市	H8	久慈市野球場	両翼94m、中堅122m
軽米町	軽米町	H9	ハートフル・スポーツランド軽米町営野球場	両翼97m、中堅122m

カ スポーツライミング競技場

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
青森県 青森市	青森県	R2	スポーツライミング施設（青森県営スケート場内）	ボルダリング・リード

(5) 利用状況

ア 利用者数（単位：人）

年度	陸上競技場	補助競技場	テニスコート	第1グラウンド	第2グラウンド	野球場	登はん	その他	合計
H30	188,846	74,631	54,247	88,225	50,495	23,110	23,410	142,361	645,325
R元	81,545	63,994	58,511	89,267	55,428	19,563	17,715	141,381	527,404
R2	47,257	29,247	43,949	55,802	26,429	7,890	24,132	127,055	361,761
R3	58,004	43,653	39,901	56,477	31,720	6,060	18,468	119,388	373,671
R4	121,608	88,414	47,171	61,876	34,575	12,555	24,369	132,735	523,303

※ 令和元年度は陸上競技場閉場期間あり（第2種公認改修工事のため）

※ その他は交通公園及び一般利用の合計（以下同じ）

イ 利用率（単位：%）

年度	陸上競技場	補助競技場	テニスコート	第1グラウンド	第2グラウンド	野球場	登はん	その他	合計
H30	78.0	83.6	96.8	95.5	72.4	51.8	97.5	100.0	84.9
R元	82.8	90.6	96.6	95.8	73.6	51.9	97.2	100.0	86.7
R2	97.7	94.1	99.6	92.0	78.1	45.0	100.0	100.0	88.2
R3	94.6	81.1	98.3	84.7	77.6	37.4	98.8	100.0	84.1
R4	95.4	86.9	98.2	87.7	67.7	38.4	98.3	100.0	84.4

※ 利用率は利用日数÷開園日数

ウ 利用料金収入（単位：千円）

年度	陸上競技場	補助競技場	テニスコート	第1グラウンド	第2グラウンド	野球場	登はん	その他	合計
H30	2,403	338	7,853	4,321	612	363	1,264	389	17,543
R元	1,573	330	7,820	3,979	598	372	1,309	358	16,339
R2	2,350	297	7,276	3,631	505	271	2,691	366	17,387
R3	2,994	337	6,610	3,420	603	237	2,327	320	16,848
R4	3,409	439	7,981	3,729	677	313	2,404	338	19,290

エ 主な大会開催状況（開催頻度）

規模	陸上競技場 （第2種公認）	テニスコート	サッカー・ ラグビー場	登はん
県	岩手障がい者スポーツ大会（毎年） 県民体育大会陸上競技大会（毎年） 岩手県中学校総合体育大会陸上競技（毎年）	岩手県ジュニアテニス選手権大会（毎年、他会場利用あり） 全日本レディースソフトテニス岩手県大会（毎年） 岩手県中学生テニス選手権大会（毎年、他会場利用あり） 県民体育大会テニス競技（毎年）	岩手県U-15サッカーリーグ（毎年、他会場利用あり） 岩手県リーグ戦（毎年、他会場利用あり）	岩手県民体育大会（毎年） 高校生選手権大会（毎年）

東北	東北中学校陸上競技大会（R5、前回（H30）は別会場（北上市））		東北社会人サッカーリーグ（毎年、他会場利用あり） 東北地区大学サッカーリーグ（毎年、他会場利用あり）	東北総合体育大会スポーツクライミング競技会（R5、H27）
全国			国民体育大会（H28、他会場利用あり）	国民体育大会（H28）
国際				IFSCクライミングワールドカップ（R4）

※ 野球場は県規模以上の大会利用なし

2 岩手県営体育館

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市青山二丁目4-1（県有地・都市計画区域内・準工業地域）
条例等上の設置目的	生涯スポーツの推進 体育、スポーツ・レクリエーション指導者の養成及び活用促進
設置時期等	昭和42（1967）年6月設置 経過年数56年（法定耐用年数47年（RC造体育館））
施設概要	○敷地面積13,404㎡、コート面積1,877㎡ ○鉄筋コンクリート造2階建て、アリーナ1面 ○収容人員 固定席：1,625席
指定管理者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団（指定管理期間R5～R9）
施設概況	中学・高校の総合体育大会、県民体育大会をはじめ、東北大会やプロレスなどのイベント会場として利用。特に体操競技においては男女種目を一体実施できる県内唯一の体育館。県内現存体育館で最も歴史あり。

(2) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費等（千円）
S42	県営体育館完成	336,338
S55	メインアーチ風化防止等全面補修	119,243
S63	フローリング張替等改修	245,791
	ゆか（床マット）設置	12,875
H5	屋根防水補修	28,048
H8	暖房設備等改修	409,620
H11	耐震改修等	38,369
H13	暖房設備等改修	2,374
H15	分煙化のための空調工事	1,762
H17	電気設備・機械設備改修	12,257
H19	直流電源更新工事	4,396
H20	外灯設備更新	5,714
	南北屋根漏水防止改修	1,418
H21	非常用発電機取替	2,205
	冷暖房設備増設	5,279
	メインアーチ防止及び漏水修理	3,920
H22	アリーナ空調送風機取替	3,546
H23	屋根等改修工事	28,599
	トイレ等改修工事	4,255
H24	アリーナ床研磨塗装等改修工事	7,743
	南側玄関防水改修工事	2,420
H26	ボイラー煙突内部改修工事	8,208
	給排水管全面改修工事	94,329
H28	アリーナ天井修繕工事	125,392
H29	都市ガス管改修	10,323
R3	非常照明蓄電池更新	1,045
R4	自動火災報知機更新	8,824
R5	照明LED化工事	69,425
	計	1,593,718

(3) 収支の状況 (単位：千円)

区 分	前期間 平均	指定管理期間						
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均	
収入	利用料金	8,961	8,446	8,372	6,262	6,641	8,843	7,713
	県委託料	32,206	33,598	33,977	40,012	36,178	38,651	36,483
	小計	41,167	42,044	42,349	46,274	42,819	47,494	44,196
支出	人件費	15,470	17,460	16,495	16,855	18,066	20,881	17,951
	需用費	12,086	12,216	10,260	10,745	11,600	13,701	11,704
	役務費	874	882	971	1,651	1,049	789	1,068
	委託費	7,475	8,300	8,345	8,692	8,973	8,979	8,658
	その他	2,921	3,046	3,368	3,969	3,392	3,652	3,486
	小計	38,826	41,904	39,439	41,912	43,080	48,002	42,867
収支差額		2,341	140	2,910	4,362	△261	△508	1,329

(4) 主な類似施設 (床面積1,600㎡以上、観客席数順)

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様	観客席 (固定席)	プロ 利用
盛岡市	盛岡市	H元	盛岡市総合アリーナ	フロア面積3,234㎡、30m×60m	3,053	●
奥州市	奥州市	H9	奥州市総合体育館	メインアリーナ3,235㎡ サブアリーナ839㎡	3,000 220	○
花巻市	花巻市	H9	花巻市総合体育館	第1アリーナ2,881㎡ 第2アリーナ 760㎡ 第3アリーナ1,675㎡	2,000 80 1,970	○
北上市	北上市	H9	北上総合体育館	メインアリーナ2,172㎡ サブアリーナ748㎡	2,000 —	
一関市	一関市	H10	一関市総合体育館	メインアリーナ2,551㎡ サブアリーナ921㎡ ステージ285㎡	2,000 53 —	
久慈市	久慈市	H16	久慈市民体育館	アリーナ2,042㎡	1,150	
宮古市	宮古市	H8	宮古市民総合体育館	アリーナ1,925㎡ 多目的体育室670㎡	1,008 —	○
陸前高田市	陸前高田市	H29	陸前高田市総合交流センター	多目的ホール1,794㎡ アリーナ950㎡	774 —	
滝沢市	滝沢市	H2	滝沢総合公園体育館	アリーナ1,610㎡	404	
八幡平市	八幡平市	H15	八幡平市総合運動公園体育館	アリーナ1,628㎡	400	
盛岡市	盛岡市	H7	盛岡体育館	アリーナ1,610㎡	350	
二戸市	二戸市	H4	二戸総合スポーツセンター	アリーナ1,680㎡	216	○

※ プロ利用：岩手ビッグブルズ (B2) のホームアリーナ (●) 又は試合会場 (○)

(5) 利用状況

ア 利用者数及び利用率

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数 (人)	81,678	62,024	39,985	41,241	57,909
利用率 (%)	100.0	100.0	98.7	100.0	98.2

※ 利用率は利用日数÷開館日数

イ 主な大会開催状況

規模	主な大会開催状況（開催頻度）
県	岩手県民体育大会（体操・新体操・トランポリン）（毎年） 岩手県高等学校総合体育大会（体操・新体操）（毎年） 岩手県中学校総合体育大会（体操・新体操）（毎年） 岩手県一般バスケットボール選手権大会（毎年） 岩手県社会人バドミントン選手権大会（R5、R4以前は別会場（奥州市）） 岩手県バドミントン選手権大会（毎年）
東北	東北総合体育大会（体操・トランポリン）（R5、前回（H27）は別会場（盛岡市）） 東北中学校体育大会（体操・新体操）（R5、前回（H29）は別会場（北上市）） 東北ブロックレディース卓球大会（R5、前回不明） 東北フットサルリーグ（毎年、他会場利用あり）

3 岩手県営スケート場

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市みたけ五丁目9-1（県有地・都市計画区域内・工業地域）
条例等上の設置目的	体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため
設置時期等	昭和47（1972）年11月設置 経過年数51年（法定耐用年数45年（RC造スタンド））
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積：34,737㎡ ○管理・観客席棟：鉄筋コンクリート造2階建て ○収容人員：観覧席1,660人 ○スピードスケートリンク：400m×15m 1面 インラインスケートリンク：200m×6m 1面 アイスホッケーリンク：60m×29m 1面 フィギュアリンク：60m×29m 1面 ○冷凍機：ターボ冷凍機4基 ○附帯施設：休憩室、休憩場等 ○駐車場：普通車290台
指定管理者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団（指定管理期間R5～R9）
施設概況	スケート場の開場期間は11月～3月（インラインスケートは4月～10月）。冬季スケート国体をはじめ多くの大会を開催してきた。アスリートやスポーツ競技団体をサポートするためのスポーツ医・科学測定室を食堂棟に併設。

(2) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費等（千円）
S47	県営スケート場完成	396,000
S48	食堂棟完成	64,678
S50	Bリンクのパイピング敷設	86,800
S53	休憩棟整備（宝くじ協会寄贈）	35,000
S63	リンク改修、冷凍機等更新	772,984
H元	建物等改修工事	115,949
H2	給水管等改修工事	56,856
H3	消化設備改修工事	12,156
	非常用電源改修工事	3,481
H4	暖房設備等改修工事	47,637
	放送設備その他設備工事	21,528
H9	ターボ冷凍機フロン転換工事	756,000
	管理棟、休憩棟、車庫棟改修	386,927
	アイスホッケーオフィシャル席改修	12,165
	ロイヤルボックス設置	18,415
H12	インラインスケートリンク設置	19,821
H14	ホッケーリンク防護ネット取付工事	2,387
H15	スケートリンク補修工事	9,450
H17	Bリンク配管改修工事	52,185
H19	Aリンク改修工事	40,399
H21	ターボ冷凍機オーバーホール	25,200
	機械棟屋根塗装工事	1,617

H22	受変電設備改修工事	66,220
	管理棟天井改修工事	4,326
H23	ボイラー改修工事	6,300
H24	ターボ冷凍機操作盤改修工事	8,925
	食堂棟健康科学担当執務室改修工事	2,559
H26	管理棟改修工事	33,693
	スケートリンク内周・外周木枠改修工事	13,974
	ターボ冷凍機起動盤改修	11,610
H29	氷温制御装置タッチパネル交換	3,456
H30	ブライン制御電動弁交換	3,328
R3	機械棟屋根遮熱塗装工事	3,898
	トイレ改修工事	3,410
計		3,099,334

(3) 収支の状況（単位：千円）

区 分	前期間 平均	指定管理期間						
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均	
収入	利用料金	6,475	6,599	5,950	5,052	5,447	5,348	5,679
	県委託料	80,750	75,542	77,222	76,379	80,185	106,368	83,120
	小計	87,225	82,141	83,172	81,431	85,632	111,716	88,819
支出	人件費	10,017	8,754	7,731	6,276	4,852	7,999	7,122
	需用費	54,079	51,574	52,119	50,391	53,537	83,270	58,178
	役務費	574	838	722	490	737	516	661
	委託費	19,424	20,205	20,632	21,401	21,677	20,959	20,975
	その他	2,235	2,267	2,088	2,315	2,342	2,076	2,218
	小計	86,329	83,638	83,292	80,873	83,145	114,820	89,154
収支差額		896	△1,497	△120	558	2,487	△3,104	△335

(4) 主な類似施設

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市	H27	盛岡市アイスリンク	屋内、スケートリンク30m×60m 1面 カーリングシート2面
花巻市	花巻市	H6	石鳥谷アイスアリーナ	屋内、スケートリンク30m×60m 1面
一関市	一関市	H6	千厩アイスアリーナ	屋内、スケートリンク33.7m×22.5m
二戸市	二戸市	S58	県北青少年の家	屋内、スケートリンク30m×60m 1面
青森県 八戸市	青森県 八戸市	R元	長根屋内スケート場	屋内、国際規格400mダブルトラック

(5) 利用状況

ア 利用者数等

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数(人)	30,226	24,447	23,184	21,742	21,661
利用率(%)	44.3	54.3	50.0	40.5	43.2

※ 利用率は利用日数÷開場日数（通年）

イ 主な大会開催状況

規模	主な大会開催状況（開催頻度）
県	岩手県選手権大会（スピードスケート）（毎年） 岩手県高等学校選手権大会（同上）（毎年） 岩手県中学校選手権大会（同上）（毎年） 岩手県民体育大会（同上）（毎年）
東北	東北スケート競技選手権大会（同上）（R3、H30、H25） 東北高等学校スケート競技選手権大会（同上）（R3、H30、H25） 東北中学校スケート競技大会（R3、H30、H25）
全国	全日本選抜スピードスケート競技会（旧・ジャパンカップ）（R5、R3、R元、H30） 全国高等学校スピードスケート競技選手権大会（H27、H15）

4 岩手県勤労身体障がい者体育館（パラリーナ）

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市青山4丁目12番31号 (盛岡市有地(無償貸借)・都市計画区域内・第二居住地域)
条例等上の設置目的	勤労身体障がい者のスポーツの普及振興、勤労意欲の高揚と福祉の向上
設置時期等	昭和52(1977)年3月設置 経過年数47年(法定耐用年数47年(RC造体育館))
施設概要	○敷地面積3,948㎡、延床面積1,270㎡ ○体育館 鉄筋コンクリート造2階建て ○競技機能：バスケットボールコート1面、バレーボールコート2面、バトミントンコート2面、テニスコート1面 ○その他：トレーニング室、シャワー室付更衣室、器具室等、駐車場(普通車30台)
指定管理者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団(指定管理期間R3～R7)
施設概況	県と雇用促進事業団が共同で整備。自動扉や広いトイレなど障がい者に配慮した施設であるが、近年は障がいの有無に関わらず、広く利用されている(障がい者利用2割程度、一般利用8割程度)

(2) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費等(千円)
S52	体育館完成	140,000
S57	内部補修	1,530
	外部補修	1,945
S59	屋内給水改修	1,929
H2	重油漏洩改修等	1,452
	屋外貯油槽設置	2,623
H4	屋根、床、外部改修ほか	46,359
H9	給湯設備改修	1,336
H21	暖房用ボイラー修繕	1,260
H23	スロープ改修及び門扉設置	1,879
H30	耐震改修ほか	31,158
R5	屋上防水改修工事	14,586
	合計	246,057

(3) 収支の状況(単位：千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
収入	利用料金	2,972	3,059	3,499				3,279
	県委託料	21,684	23,943	24,014				23,979
	自主事業	0	3	8				5
	小計	24,656	27,005	27,521				27,263

支出	人件費	12,266	12,927	13,195				13,061
	維持管理費	8,594	9,739	10,273				10,009
	その他	2,103	2,691	2,720				2,706
	小計	22,963	25,357	26,188				25,773
収支差額		1,693	1,648	1,333				1,490

(4) 主な類似施設

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	県	H6	ふれあいランド岩手 (障がい者、高齢者等を含めたすべての県民を対象としたスポーツ・レクリエーション活動施設及び文化活動施設)	プール、体育館、陸上競技場、トレーニングルーム、卓球室、テニスコート、ゲートボール場、アーチェリー場ほか

(5) 利用状況

ア 利用者数等

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者(人)	12,869	25,091	24,109	22,244	24,932
うち障がい者	3,003	6,961	5,747	5,081	5,477
うちその他	9,866	18,130	18,362	17,163	19,455
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 利用率は利用日数÷開館日数

※ H30は耐震改修等工事による6か月の休館期間あり

イ 主な大会開催状況

なし(県レベル以上の障がい者対象の大会利用なし)

5 岩手県立御所湖広域公園艇庫

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市繫字除キ4-1 (県有地及び国有地(無償使用)・都市計画区域内・指定なし)
条例等上の設置目的	生涯スポーツの推進 体育、スポーツ、レクリエーション指導者の養成及び活用促進
設置時期等	昭和58(1983)年9月設置 経過年数40年(法定耐用年数25年(S造格納庫))
施設概要	○敷地面積8,594㎡、延床面積1,225㎡ ○施設:鉄骨造2階建て(艇格納庫、管理室、休憩室、会議室) ○設備:漕艇用ボート、カヌー、審判艇、トレーニング用具等 ○コース:日本漕艇協会B級公認コース 2,000m×6レーン、1,000m×6レーン ○駐車場:普通車20台(バス5台)
指定管理者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団(指定管理期間R5~R9)
施設概況	開場期間は4月上旬~10月中旬まで。艇格納庫が狭小化。御所湖は2,000mの公認コースとして各種大会が開催されている。

(2) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費等(千円)
S57	艇庫完成	184,032
S58	漕艇場完成	73,000
H12	艇庫内改修	7,518
H13	漕艇場改修	2,123
H14	艇庫屋根改修	13,923
H16	護岸等補修	3,154
H17	屋根雪止設置及びフェンス取替	1,313
H20	電動シャッター改修・外灯設備更新	9,385
H22	給水ポンプ改修	735
H23	深井戸水中ポンプ等更新	4,122
	艇庫外階段補修	866
	会議室天井ボード補修等	529
H27	繫索柱及び見通し版災害復旧	3,456
H28	非常照明及び非常照明バッテリー交換工事	906
R3	自動火災報知設備更新工事	1,418
	トイレ改修工事	2,398
	計	308,878

(3) 収支の状況(単位:千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均	
収入	利用料金	1,121	1,072	1,033	931	904	916	971
	県委託料	15,128	15,895	16,004	16,599	16,862	17,086	16,489
	小計	16,249	16,967	17,037	17,530	17,766	18,002	17,460

支出	人件費	11,566	11,562	10,134	10,315	9,643	12,632	10,857
	需用費	1,391	1,993	1,387	1,289	1,386	2,239	1,659
	役員費	786	794	747	782	965	741	806
	委託費	2,106	2,144	2,152	2,185	2,225	2,228	2,187
	その他	1,544	2,212	2,386	2,770	2,672	2,662	2,540
	小計	17,393	18,705	16,806	17,341	16,891	20,502	18,049
収支差額		△1,144	△1,738	231	189	875	△2,500	△589

(4) 主な類似施設

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
花巻市	国 (公財)B&G 花巻市	H5	田瀬湖ヨットハーバー	艇庫、マリナーハウス、ボートコース(B級公認2,000m・8レーン)
		H5	東和B&G海洋センター	
		H10	艇庫	
西和賀町	西和賀町	H24	錦秋湖ボートコース	艇庫587.73㎡、C級公認1,000m・4レーン、回送コース 2レーン
宮古市	宮古市	県	リアスハーバー宮古	クラブハウス、艇庫、保留棧橋

(5) 利用状況

ア 利用者数等

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数(人)	8,950	8,342	6,918	5,780	6,389
利用率(%)	96.2	98.8	96.6	99.3	99.4

※ 利用率は利用日数÷開場日数

イ 主な大会開催状況

規模	主な大会開催状況(開催頻度)
県	岩手県高等学校総合体育大会カヌー競技(毎年) 岩手県民体育大会ボート競技(毎年)
東北	東北高等学校カヌースプリント選手権大会(R4、H29) 東北総合体育大会カヌー競技(R5、H27)
全国	国民体育大会(カヌー)(H28)

6 岩手県営スキージャンプ場

(1) 施設の概要

所在地	八幡平市矢神8-1（八幡平市有地・無償貸借）
条例等上の設置目的	体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため
設置時期等	昭和60（1985）年12月設置 経過年数38年（S造）
施設概要	○敷地面積10,299.94㎡ ○ジャンプ台：ミディアムヒル、スモールヒル、照明設備等 ○その他：倉庫49.68㎡（延べ99.36㎡）
指定管理者	八幡平市（指定管理期間R5～R9）
施設概況	開場期間は5月～11月。県内唯一のサマージャンプ台。 年に1度、八幡平市や県競技団体等主催のジュニアサマージャンプ大会が開催され、県外からも参加している。

(2) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費等（千円）
S60	スキージャンプ場完成	96,234
H7	改築：スキージャンプ台規格改正による大規模改築	232,081
H9	転倒防護マット設置	1,470
	風向風速計設置	1,680
H20	人工芝張替工事	11,865
H21	ポンプ室減圧弁改修工事	494
H22	スモールヒル建設工事	249,862
R2	人工芝張替工事	52,690
R3	防護マットカバー修繕	3,300
	計	649,676

(3) 収支の状況（単位：千円）

区分	前期間平均	指定管理期間						
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均	
収入	利用料金	67	99	89	75	77	111	90
	県委託料	2,729	2,810	2,824	2,887	2,867	3,462	2,970
	小計	2,796	2,909	2,913	2,962	2,944	3,573	3,060
支出	人件費	670	802	683	724	780	970	792
	需用費	1,238	1,303	1,239	1,138	1,388	1,835	1,381
	役務費	52	55	54	49	46	54	52
	委託料	1,063	1,103	1,069	1,104	681	1,081	1,008
	小計	3,023	3,263	3,045	3,015	2,895	3,940	3,232
収支差額	△227	△354	△132	△53	49	△367	△171	

(4) 主な類似施設

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
八幡平市	八幡平市	S47	八幡平市矢神飛躍台	冬期、ノーマルヒル、ミディアムヒル、スモールヒル
秋田県 鹿角市	秋田県	H7	花輪スキー場ジャンプ施設	夏期・冬期、ノーマルヒル、ミディアムヒル、スモールヒル

(5) 利用状況

ア 利用者数等

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数(人)	511	467	300	470	612
利用率(%)	35.3	35.4	20.4	44.5	53.0

※ 利用率は利用日数÷開場日数（5月～11月）

イ 大会開催状況

規模	主な大会開催状況
—	田山ジュニアサマージャンプ大会（毎年）（県外からの参加者あり）

7 岩手県営武道館

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市みたけ三丁目24-1 (県有地・都市計画区域内・工業地域)
条例等上の設置目的	体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため
設置時期等	昭和61年(1986)年10月設置 経過年数37年(法定耐用年数47年(RC造体育館))
施設概要	敷地面積 18,498㎡ ○弓道場(昭和61(1986)年9月完成) ・近の場 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積1,086㎡ ・遠の場 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積55㎡ ○相撲場(昭和61(1986)年9月完成) 鉄骨造平屋、延床面積180㎡ 競技機能：土俵1面、屋外練習場、観客席500人 ○駐車場：139台(※スケート場駐車場を除く) ○大道場(平成2(1990)年2月完成) 鉄筋コンクリート造一部地下・地上3階、延床面積4,988㎡ ○柔道場(平成2(1990)年2月完成) 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積745㎡ 競技機能：試合場2面 ○剣道場(平成2(1990)年2月完成) 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積745㎡ 競技機能：試合場2面
指定管理者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団(指定管理期間R5～R9)
施設概況	本県武道の中核施設として大道場を有する県内唯一の施設。全国規模の大会等が開催されている。

(2) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費等(千円)
S61	弓道場・相撲場完成	524,000
H元	大道場、拾道場、剣道場完成	2,669,380
H2	弓道場冬期練習用雨戸取付	1,648
H10	身障者対応	25,843
H11	弓道場安全対策	21,219
H15	遠の場改修	49,762
H18	土俵及び近の場安土改修	2,468
H19	大道場照明設備更新工事	1,134
H21	監視カメラ取替	1,155
	大道場安定器交換	808
	非常照明用蓄電池交換	2,176
	空調設備改修	1,460
H27	弓道場巻藁場改修	12,315
	天井改修	19,596
H29	高压ケーブル交換	1,266
	トイレ改修(洋式化)	2,473
H30	高压受変電設備改修	26,396
	弓道場防矢ネット張替	4,417
R2	大道場排風機更新工事	2,373

R3	柔道場・剣道場空調設備改修工事	2,530
	トイレ改修工事	20,235
	弓道場防矢ネット張替工事	3,933
R4	大道場光電式分離型感知器取替工事	2,145
	計	3,398,732

(3) 収支の状況 (単位：千円)

区 分	前期間 平均	指定管理期間						
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均	
収入	利用料金	9,896	10,642	10,404	7,822	8,274	11,514	9,731
	県委託料	50,871	48,955	50,245	51,235	53,291	54,296	51,605
	小計	60,767	59,597	60,649	59,057	61,565	65,810	61,336
支出	人件費	23,804	21,533	25,537	32,062	26,937	22,145	25,643
	需用費	16,142	16,775	17,224	14,492	17,514	19,095	17,020
	役務費	1,134	1,103	1,069	2,167	1,197	1,072	1,322
	委託費	13,591	14,276	14,512	14,637	15,119	15,223	14,753
	その他	3,259	3,872	4,093	4,353	4,330	4,598	4,249
	小計	57,930	57,559	62,435	67,711	65,097	62,133	62,987
収支差額		2,837	2,038	△1,786	△8,654	△3,532	3,677	△1,651

(4) 主な類似施設

ア 柔剣道場

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市	S54	盛岡市立武道館	柔道場554.9㎡ 剣道場554.9㎡

イ 弓道場

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市	H7	盛岡市弓道場	近的12人立
奥州市	奥州市	H10	水沢弓道場	近的9人立、遠的6人立

ウ 相撲場

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市	H24	盛岡市立好摩相撲場	観客席
八幡平市	八幡平市	S53	八幡平市西根松尾相撲場	観客席557.76㎡
山田町	山田町	H24	山田町宮相撲場	

(5) 利用状況

ア 利用者数 (単位：人)

年度	大道場	柔道場	剣道場	弓道場 (近的)	弓道場 (遠的)	相撲場	その他	合計
H30	87,807	27,407	23,353	18,311	2,923	4,556	19,560	183,917
R元	80,488	24,281	18,946	17,560	3,581	4,942	18,937	168,735
R2	29,612	14,067	9,718	8,750	1,783	173	7,994	72,097
R3	34,716	15,043	11,545	11,064	3,017	1,106	10,285	86,776
R4	52,022	21,020	15,052	14,588	2,789	1,325	11,695	118,491

※ その他はトレーニング室及び会議室の合計 (以下同じ)

イ 利用率 (単位：%)

年度	大道場	柔道場	剣道場	弓道場 (近的)	弓道場 (遠的)	相撲場	その他	合計
H30	99.7	96.1	96.1	98.7	28.8	24.4	79.0	79.2
R元	98.7	89.7	91.3	98.7	30.5	25.0	79.3	77.9
R2	95.2	88.6	91.0	98.6	21.4	3.8	72.9	72.8
R3	95.2	90.4	85.3	96.6	29.4	15.7	70.0	73.5
R4	99.0	96.5	91.6	99.4	38.7	20.1	76.8	79.0

※ 利用率は利用日数÷開館日数

ウ 利用料金収入 (単位：千円)

年度	大道場	柔道場	剣道場	弓道場	相撲場	その他	合計
H30	6,949	880	1,050	1,059	23	682	10,643
R元	7,006	915	561	1,109	25	788	10,404
R2	5,329	732	308	864	7	583	7,823
R3	5,722	461	477	1,103	38	474	8,275
R4	8,501	559	572	1,340	12	531	11,515

※ その他には行商も含む。

エ 主な大会開催状況

規模	主な大会開催状況 (開催頻度)
県	岩手県空手道選手権大会 (毎年) 岩手県民体育大会 (剣道、弓道、空手) (毎年) 岩手県柔道選手権大会 (毎年) 岩手県高等学校総合体育大会 (剣道、弓道、相撲) (毎年) ※柔道は他会場で開催する場合あり
東北	東北高等学校空手道選抜大会 (R5、H28) 東北中学校春季柔道大会 (毎年) 東北総合体育大会 (空手ほか) (R5、H27)
全国	国民体育大会 (空手) (H28)

8 岩手県営屋内温水プール（ホットスイム）

(1) 施設の概要

所在地	岩手郡雫石町長山大鉢森38-4（県有地・都市計画区域内・指定なし）
条例等上の設置目的	新エネルギーの利用、県民の心身の健全な発達
設置時期等	平成5（1993）年12月設置 経過年数29年（法定耐用年数30年（水泳プール））
施設概要	○敷地面積60,000㎡ ○プール棟：平成5（1993）年10月完成 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積6,116㎡ 50m×25m 50m使用10コース 25m使用16コース 流水プール（長さ81m）、ウォータースライダー2基、 幼児用プール（直径4.5m）、トレーニングルーム ○ボイラー棟：平成19（2007）年1月完成 木造1階建て 延床面積133㎡、木質バイオマスのチップボイラー ○その他：駐車場（普通車162台、大型車4台）
指定管理者	岩手県雫石ホットスイムウェルネスパートナーズ（共同企業体代表：セントラルスポーツ㈱）（指定管理期間R5～R9）
施設概況	雫石地域地熱熱水供給事業実証事業で建設した施設。平成19年度からチップボイラーと地下室利用型ヒートポンプを組み合わせた複合設備を整備。

(2) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費等（千円）
H5	屋内温水プール施設	約3,200,000
	（H6～H17の改修等は不明）	—
H18	熱源改修工事	163,634
	ファミリープール天井耐震改修	9,679
H21	ファミリープール外壁改修、デモセンター屋根改修、管理棟屋根防水改修	34,299
	高圧盤修繕	2,391
H23	プール床面防滑加工	867
	換気設備修繕	1,365
H25	各プールろ材交換	10,261
	各プール及び男女浴槽薬注装置	10,807
	50mプールろ過ポンプ交換（2台）	3,045
H27	ファミリープール函体塗装	2,365
	ウォータースライダー滑走面補修	2,484
	ファミリープール棟屋根防水	7,455
H28	チップボイラー燃焼室打替修繕	5,616
	ろ過機空気作動弁・電磁弁交換	3,294
	ろ過機制御系統PLC交換	2,938
	空調機交換	1,575
R3	トイレ改修工事	8,525
R5	外壁等改修工事	53,833
	合計	3,524,433

(3) 収支の状況 (単位：千円)

区 分		前期間 平 均	指定管理期間					
			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均
収入	利用料金	6,465	6,381	6,096	6,920	5,223	4,631	5,850
	県委託料	87,934	86,586	88,077	89,141	90,222	101,894	91,184
	小計	94,400	92,967	94,173	96,061	95,445	106,525	97,034
支出	人件費	22,380	26,892	21,309	18,938	22,371	26,044	23,111
	維持管理費	52,720	50,418	56,009	51,734	50,799	66,596	55,111
	事業経費	18,055	17,052	18,896	18,218	17,848	8,371	16,077
	小計	93,155	94,362	96,214	88,890	91,018	101,011	94,299
収支差額		1,245	△1,395	△2,041	7,171	4,427	5,514	2,735

(4) 主な類似施設

ア 50mプール

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市	H10	盛岡市総合プール	屋内温水50m×25m 9コース、飛び込みプール22m×22m 水深5m、日本水泳連盟公認
花巻市	花巻市	S53	花巻市民プール	屋外50m×8コース、日本水泳連盟公認
北上市	北上市	S46	北上市民展勝地プール	屋外50m×8コース、日本水泳連盟公認
一関市	一関市	H24	一関水泳プール	屋外50m×8コース、日本水泳連盟公認
奥州市	奥州市	S57	大鐘公園市民プール	屋外50m×8コース、日本水泳連盟公認
釜石市	釜石市	S43	釜石市営プール	屋外50m×9コース、日本水泳連盟公認
二戸市	二戸市	S56	金田一近隣公園プール	屋外50m×7コース、日本水泳連盟公認

イ 屋内温水プール (通年営業)

所在地	設置者	完成年度	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市	H10	盛岡市総合プール	屋内温水50m×25m 9コース、飛び込みプール22m×22m 水深5m、日本水泳連盟公認
盛岡市	県	H6	ふれあいランド岩手	屋内温水25m×6コース
盛岡市	盛岡市	H13	盛岡市余熱利用健康増進センター(ゆびあす)	屋内温水25m×4コース
紫波町	紫波町	H9	クアパーク ラ・フランス屋内温水プール	屋内温水20m×3コース
遠野市	遠野市	S49	遠野市民センター市民プール	屋内温水25m×6コース
一関市	一関市	H5	藤沢B&G海洋センター	屋内温水25m×6コース
西和賀町	西和賀町	S58	西和賀町湯本屋内温泉プール	屋内温水25m×6コース、日本水泳連盟公認
金ケ崎町	金ケ崎町	H5	森山総合公園生涯スポーツセンタープール	屋内温水25m×6コース、日本水泳連盟公認
宮古市	雇用促進事業団	S63	姉ヶ崎サン・スポーツランド	屋内温水25m×6コース

大船渡市	大船渡市	H4	大船渡Y・Sセンター	屋内温水25m×7コース
陸前高田市	陸前高田市	H29	陸前高田市B&G海洋センター	屋内温水25m×6コース
久慈市	久慈市	H2	福祉の村温水プール	屋内温水25m×6コース
洋野町	洋野町	H5	洋野町種市屋内温水プール	屋内温水25m×6コース

(5) 利用状況

ア 利用者数等

年度	H30	R元	R2	R3	R4
利用者数(人)	45,305	40,170	36,591	25,614	26,314
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 利用率は利用日数÷開館日数

イ 主な大会開催状況

規模	主な大会開催状況
県	岩手県高等学校新人大会(水泳)

資料 2

岩手県公共施設等総合管理計画（令和 4 年 7 月改訂）の概要

1 計画策定の趣旨

公共施設等の計画的な更新や長寿命化、施設配置の最適化により、財政負担の軽減・平準化を図るなど長期的な視点に立った公共施設等マネジメントの取組を推進するものである。

2 計画の位置づけ

国のインフラ長寿命化基本計画に基づく、行動計画に当たるもので、本県の公共施設等管理に関する基本計画として位置づけられるものである。

3 計画期間

平成27年度～令和 6 年度までの10年間。
計画期間中においても、必要に応じて見直しを実施。

4 現状や課題に関する基本認識

(1) 公共施設等の老朽化への対応

高度成長期から昭和 50 年代を中心に大量に整備した公共施設等に係る維持管理や修繕、更新経費の増大への対応が課題。

(2) 社会経済情勢等の変化への対応

地域を支える基盤の一つである公共施設等の役割に留意しつつ、社会経済情勢等の変化に即した的確な対応が課題。

(3) 災害への対応

東日本大震災津波を教訓とした国土強靱化に向けた取組が課題。

5 公共施設等の管理に関する基本的な考え方（基本方針）～計画推進の「3つの柱」～

[方針Ⅰ] コスト縮減・財政負担の平準化

計画的な維持管理と長寿命化を推進し、公共施設等の維持管理や修繕、更新等に要する中長期的なコストを縮減・財政負担を平準化。

[方針Ⅱ] 施設規模・配置・機能等の適正化

「第 2 期岩手県ふるさと振興総合戦略」に掲げる基本目標の趣旨を踏まえながら、人口動態等の変化に対応した公共施設等のあり方を検討し、施設規模や配置、機能等を適正化。

また、公共施設等のあり方の検討に当たっては、環境への配慮や市町村等との連携などについても十分に考慮。

[方針Ⅲ] 安全・安心の確保

「第 2 期岩手県国土強靱化地域計画」に位置付けられる施策との整合性を図りながら、計画的な耐震化や定期的な点検・診断、修繕などにより公共施設等に求められる機能を維持・強化し、県民、施設利用者等の安全・安心を確保。

6 公共施設等の管理に関する基本的な考え方（具体的な取組方針）

～計画実施の「9つの取組方針」～

【取組1】点検・診断等の実施方針

- (1) 定期的な点検・診断の実施（点検・診断マニュアルの整備など）
- (2) 継続的に実施可能な点検・診断体系の構築（新技術の導入など）
- (3) 点検・診断結果の一元管理の推進（データベース化など）

【取組2】維持管理・修繕・更新等の実施方針

- (1) 計画的な維持管理の実施（個別施設計画策定・負担平準化など）
- (2) 新設・更新時におけるライフサイクルコストの縮減（構造・仕様など）
- (3) 環境負荷低減への取組（再生可能エネルギー、材料選定など）

【取組3】安全確保の実施方針

- (1) 高度の危険性が認められた場合の対応ルール確立（供用停止など）
- (2) 用途を廃止した施設の適切な管理（除却の検討など）

【取組4】耐震化の実施方針

- (1) 耐震改修促進計画等の推進（多くの県民が利用する公共施設など）
- (2) 効率的な対策実施（長寿命化対策との同時施工など）

【取組5】長寿命化の実施方針

- (1) 予防保全型維持管理の実施（適時適切な修繕、高耐久性材料など）
- (2) 長寿命化対象の選別（今後とも長期間保有する施設の選別など）

【取組6】ユニバーサルデザイン化の推進方針

- (1) ユニバーサルデザインに対応した公共施設等の整備、改修への取組

【取組7】脱炭素化の推進方針

- (1) 施設の省エネルギー化や再生可能エネルギー導入など脱炭素化への取組

【取組8】統合や廃止の推進方針

- (1) 施設規模・総量の適正化と有効活用（人口動態の変化への対応など）
 - ・ 令和6年度までにおける公共施設※に係る県民1人当たりの負担額を、過去5年間の実績を踏まえ、12,000円以下となるようコスト縮減・財政負担の平準化を図る。
 - ・ 2040年（令和22年度）までに、学校施設を除く庁舎や県民利用施設などの公共施設※の延床面積を85%程度（令和2年度比）となるよう見直しを進める。
- (2) 市町村等との連携（機能・役割分担など）

※ 病院等公営企業施設及びインフラ施設は含まないこと。

【取組9】総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- (1) 全庁的な取組体制の整備（庁内関係部局による会議の設置など）
- (2) 民間活力の導入（PPP／PFIの活用、地域住民等との協働など）
- (3) 施設管理者の技術力向上（研修会や連絡会議の開催など）

資料3

岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画（第1版）（令和3年2月策定）の概要

1 目的

岩手県文化スポーツ部が所管する公共施設の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行い、個々の公共施設に係る具体的な対応方針を定める計画として位置づけるもの。

2 対象施設

岩手県文化スポーツ部が所管する建築面積100㎡以上の公共施設10施設（うちスポーツ施設8）

※ 対象のスポーツ施設：県営運動公園、県営体育館、県営野球場、県営スケート場、県営武道館、県立御所湖広域公園艇庫、県勤労身体障害者体育館、県営屋内温水プール

3 計画期間

令和2年度～令和32年度までとし、施設ごとの対策の内容は、令和6年度までとする。

4 計画期間中の概算経費

13,499百万円（うちスポーツ施設5,682百万円）

うち、令和2年度から令和6年度までの概算経費3,413百万円（うちスポーツ施設461百万円）

5 施設ごとの対応方針

※ 対象外施設（運動公園テニスコート、県営スキージャンプ場）は、「県営スポーツ施設のあり方について」（令和29年12月）の内容を記載。

施設名	今後のあり方・当面の措置	総合判定
① 県営運動公園	<p>【今後のあり方】 全国規模の競技会・大会については、しばらくの間、1種公認である北上陸上競技場の利用が可能であるため、県営陸上競技場については、長期的な観点から、インターハイ、国体等の全国規模の競技会・大会開催の見通し等も勘案し、改修、改築等について改めて検討することが望ましい。 なお、検討に当たっては、陸上競技場のスタンドが令和16年度に耐用年数を迎えるため、劣化度調査等の結果を踏まえる必要がある。</p> <p>【当面の措置】 東北規模の競技会を開催できる2か所の競技場の一つであり、東北又は県規模の競技会の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、2種公認を維持していく必要がある。</p>	修繕・改修
	<p>【今後のあり方】 県営よりも充実した機能を備えた市町村営施設が増えており、また、市町村営施設において全国規模の競技会・大会が開催されている現状を踏まえると、県営の施設として現在の施設水準を維持する必要性は高くない。</p> <p>【当面の措置】 一方、都市公園として地域住民の利用を目的としている施設でもあり、現状において、小規模の大会や一般利用などでの利用率が極めて高いことから、当面、現状を維持しつつ、大規模な改修が必要となった際は、そのあり方について改めて検討する必要がある。</p>	— (計画対象外)

施設名	今後のあり方・当面の措置	総合判定
サッカー・ラグビー場	<p>【今後のあり方】 インターハイや国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要があるが、グラウンド2面のうち、1面を人工芝にしたことにより利用者が大幅に増えている状況を踏まえると、残る1面についても、スポーツ健康科学センター（多目的屋内練習施設）の整備のあり方に応じ、人工芝への改修も検討していくことが望ましい。</p>	修繕・改修
野球場	<p>【今後のあり方】 主に住民のレクリエーションのために利用されており、同等程度の機能を備えた施設は県内に数多くあることから、県と市町村の基本的な役割分担を踏まえると、県営の施設として現在の施設水準を維持する必要性は高くない。</p> <p>【当面の措置】 一方、都市公園として地域住民の利用を目的としている施設でもあり、現状において、朝野球や軟式野球大会など一定のニーズがあることから、当面、施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行い、現状を維持することが望ましい。</p>	修繕・改修
スポーツクライミング競技場	<p>【今後のあり方】 岩手県営運動公園は、リード、スピード及びボルダリングの三施設を備える日本有数のスポーツクライミングの拠点となっており、全国的にも高い評価を受けている。</p> <p>また、国際大会などの大規模大会が開催できる施設であることから、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要がある。</p>	維持管理
② 県営体育館	<p>【今後のあり方】 県営よりも充実した機能を備えた市町村営施設が増えてきた現状であるが、体操競技会の男女種目を一体で実施できる県内唯一の体育館でもあり、担う役割や今後の市町村施設の改修状況等を踏まえた検討が必要となる。</p> <p>【当面の措置】 小規模の大会や一般利用などでの利用率が極めて高く、体操競技会の男女種目を一体で実施できる県内唯一の施設であることから、当面、施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行い、現状を維持することが望ましい。</p>	修繕・改修
③ 県営スケート場	<p>【今後のあり方】 400mのスピードリンクを有する県内唯一の施設であり、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 概ね10年スパンで開催されるインターハイや国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえ、適時、改修等を行っていく必要がある。</p>	修繕・改修
④ 県勤労身体障がい者体育館	<p>【今後のあり方】 障がい者の団体利用数及び利用者数は、安定的に推移しており、県内の障がい者スポーツ振興のためにも長期的に県営の施設として維持することが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。</p>	修繕・改修
⑤ 県立御所湖広域公園艇庫	<p>【今後のあり方】 県内に2か所の日本ボート協会公認B級ボートコース漕艇場の一つであり、国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえると、長期的に県営として維持していくことが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。</p>	修繕・改修
⑥ 県営スキージャンプ場	<p>【今後のあり方】 県内唯一のサマースキージャンプ施設であり、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。</p>	— (計画対象外)

施設名	今後のあり方・当面の措置	総合判定
⑦ 県営武道館	<p>【今後のあり方】 大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設であり、全国規模の競技会・大会を開催している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。</p>	修繕・改修 (射場以外) 維持管理 (射場のみ)
⑧ 県営屋内温水プール	<p>【今後のあり方】 (公財)日本水泳連盟50m公認プールのほか、ファミリープール、トレーニングルームを有している施設であり、住民のレクリエーション等での利用のほか、大会や合宿などにも利用されている状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。</p> <p>【当面の措置】 施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。</p>	修繕・改修
⑨ スポーツ医・科学センター	<p>【今後のあり方】 スポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設については、競技力向上や生涯スポーツの振興、また、冬期間のフィールド練習環境の整備の観点から県営の施設として整備することが望ましい。</p>	—
⑩ 多目的屋内練習施設	<p>一方、整備計画は、東日本大震災により凍結されていることから、改めて、その整備のあり方について、検討を行うことが望ましい。</p>	(計画対象外)
県営野球場	<p>盛岡市と共同で岩手県営野球場と盛岡市営野球場の代替となる新たな野球場を整備することにより、岩手県・盛岡市双方の野球場の老朽化による諸課題の解決が可能であること、加えてそれぞれが単独で整備する場合に比較して経費の縮減が図られるほか、単独で整備するより、高規格な施設整備が可能となることなどから、岩手県営野球場と盛岡市営野球場を集約化し、盛岡市と共同で新たな野球場を整備することが最適である。なお、整備にあたっては、民間活力の導入(PFI方式)による経費の削減も図られるもの。</p>	転用・複合化

資料 4

スポーツ医・科学センター及び多目的屋内練習施設について

1 概要

- ・ 平成19年に第71回国民体育大会（H28）の本県開催が内々定したことを受け、喫緊の課題であった競技力向上のための練習環境を整備するため、平成22年3月に多目的屋内練習施設等整備基本計画を策定。
- ・ 当時は、スポーツ医・科学センター機能を併設した多目的屋内練習施設を県営運動公園サッカー・ラグビー第2グラウンドに整備することとして、基本設計までしたが、平成23年の東日本大震災津波の発災により、現在まで計画が凍結されている。
- ・ 平成25年度から、いわて国体（H28）に向けた選手強化のため、県営スケート場内に暫定的なスポーツ医・科学の測定・研修拠点を設置し、体力測定や実技講習会等の事業を実施しているほか、学校や市町村体育施設等への出前事業を実施している。
- ・ 前回のあり方懇談会報告書（H29.12）を踏まえ、現有の県営スポーツ施設と併せて、改めて、スポーツ医・科学センター及び多目的屋内練習施設のあり方を総合的に検討するもの。

【参考：県営スポーツ施設のあり方に関する懇談会報告（平成29年12月）（抜粋）】

スポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設については、競技力向上や生涯スポーツの振興、また、冬期間のフィールド練習環境の整備の観点から県営の施設として整備することが望ましい。

一方、整備計画は、東日本大震災により凍結されていることから、改めて、その整備のあり方について、検討を行うことが望ましい。

2 現状（スポーツ医・科学拠点）

- ・ いわて国体（平成28年度）に向けた選手強化のため、平成25年度から県営スケート場内にスポーツ医・科学の暫定的な拠点を設置。測定機器13機種25台を保有し、体力測定や実技講習会等の事業を実施している。
- ・ 測定データを基に、独自に作成した簡易ソフトにて、アスリート個々の現状を評価するとともに、必要なトレーニングプログラムを提供しているが、トップアスリートと比較できる測定データが不足していることなどが課題となっている。
- ・ ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）^{※1}との連携により、トップアスリートの測定データの共有が可能となり、評価に基づきアスリート個々の競技特性に応じたトレーニングプログラムの提供が可能となるが、現在の拠点は、HPSCとの連携関係の指定要件^{※2}を満たしていない。
- ・ なお、県営スケート場の老朽化等により、地震発生時の測定機器等の破損や夏期の室内高温化による精密機器等への影響が懸念されている。

【令和6年度の体制】

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 競技スポーツ担当5名

【活動拠点】

県営スケート場食堂棟2階（盛岡市）

※学校や市町村体育施設等への出前事業が中心

【現有設備】

反応時間測定器、垂直とび測定器、自転車エルゴメーター、握力計、背筋力計、体成分分析装置、ジャンプ計測・運動能力評価システム、映像分析ソフトウェアシステム等

※1 ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）

独立行政法人日本スポーツ振興センターが、管理運営している国立スポーツ科学センター（JISS）、味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）等をハイパフォーマンススポーツセンター拠点とし、オリンピック競技とパラリンピック競技を一体的に捉え、スポーツ医・科学、情報等による研究、支援及び高度な科学的トレーニング環境を提供し、国内外のハイパフォーマンススポーツ（世界一を競い合うスポーツ）の強化に取り組んでいるもの。地方公共団体や大学が運営する拠点と連携しネットワークを活用しながら、選手強化への支援も行っている。

※2 HPSCとの連携機関の指定要件

- (1) 地方公共団体が運営する場合、条例等を根拠に運営されるスポーツ医・科学センターであること
- (2) HPSCが指定する適合測定機器を保有していること。
（本県が指定要件を満たすために必要な測定機器は「等速性筋力測定装置（Biodex）」（定価2,100万円）及び「全身持久力測定システム」（定価650万円）。
- (3) 次に掲げる条件を満たす測定スペース1室を保有していること。
 - ア 屋内であること。
 - イ 縦3.75m以上、横3.75m以上であること。
 - ウ イの条件の下、矢状面、前額面及び水平面で撮影するカメラを設置できること。
 - エ 壁や床は、被写体を識別しやすい色であること。
- (4) 測定スペースに、適合測定機器を設置していること。
- (5) 適合測定機器は、同一施設内に設置されており、当該測定スペースにおいて体力測定が一体的に実施できること。

※3 HPSCとの連携機関（体力測定）

HPSCが定める基準・方法によりアスリートに対して体力測定を実施できる機関は17機関（9自治体、8大学）。

自治体：北海道立総合体育センター、青森県スポーツ科学センター、とちぎスポーツ医科学センター、千葉県総合スポーツセンター、横浜市スポーツ医科学センター、新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター、富山県総合体育センター、京都トレーニングセンター（府立）、高知県スポーツ科学センター

大学：北翔大学（北海道）、国際武道大学（千葉県）、帝京大学スポーツ医科学センター（東京都）、山梨学院大学スポーツ科学部（山梨県）、びわこ成蹊スポーツ大学（滋賀県）、立命館大学スポーツ健康科学部（滋賀県）、大阪体育大学（大阪府）、和歌山県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所（和歌山県）

3 方向性

(1) 整備目的

ア スポーツ医・科学センター

- ① スポーツ選手を育成・強化する拠点として整備
- ② 県民の健康づくりの支援施設として整備

イ 多目的屋内練習施設

スポーツ選手を育成・強化する拠点として整備

(2) 求められる機能（必要な施設・設備の概要）

ア スポーツ医・科学センター

機能	施設・設備
① メディカルチェック	医師面談室、医師控室、医学検査室（HPSC推奨器具、骨密度計測器）
② フィジカル・フィットネス/チェック（体力測定）	体力測定室（HPSC推奨器具）、トレーニングジム（トレーニング器具）、簡易プール、簡易走路
③ トレーニングサポート	フィットネスホール（小体育館）、実技指導室
④ 心理サポート	メンタル指導室
⑤ 栄養サポート	簡易調理室
⑥ 動作分析、レース・ゲーム分析、映像・ITサポート	撮影専用室（高画質カメラ、大型モニター）、分析室（パソコン）
⑦ トレーナー活動	トレーナー処方室、処方ベッド
⑧ 研修室	会議室

※ 新設や空き施設活用の場合は、上記に加えて、県内スポーツ関係団体の事務所やスポーツ関連産業の事業所の集約化など、スポーツ関連の拠点化についても、併せて検討することが望ましい。

イ 多目的屋内練習施設

機能	施設・設備
屋内練習施設	アリーナ（人工芝）、簡易走路、器具庫（競技用器具）、諸室、管理室

資料5

近隣県等のスポーツ医・科学拠点及び併設施設等

県等	拠点施設	HSCP 連携	医・科学 機能	併設施設	医・科学 拠点運営	備考
北海道	北海道立総合体育センター (平成11年完成) 延床面積30,000㎡	○	測定室 (265㎡) トレーニング室 (412㎡)	メインアリーナ (3,886㎡) サブアリーナ (1,647㎡) 武道場 弓道場 等	道スポーツ協会 (指定管理)	<u>アリーナ併設型</u> アリーナはプロバスケットチーム (B1レバンガ北海道) のホーム
青森県	新青森県総合運動公園総合体育館 (平成15年完成) 延床面積25,450㎡	○	体力測定室 トレーニングルーム 研修室 検査室 等 (スポーツ科学センター計3,089㎡)	メインアリーナ (3,910㎡) サブアリーナ (1,662㎡) 室内温水プール (25m×8コース) 合宿所 等	県スポーツ協会 (委託)	<u>運動公園併設型</u> <u>アリーナ併設型</u>
秋田県	秋田県スポーツ科学センター (昭和54年完成) 延床面積6,507㎡		体力測定室、体育場、トレーニング室、ウェイトリフティング室、研修室、会議室 (6,507㎡)		県 (直営)	<u>運動公園併設型</u>
	新県立体育館 (仮) (令和10年秋開館) 延床面積約17,000㎡ ～18,000㎡	(○)	体力測定室 トレーニング室	アリーナ 体育館 多目的室 等	未定 (指定管理) ※PFI・BTO方式	<u>運動公園併設型</u> <u>アリーナ併設型</u> アリーナはプロバスケットチーム (B1秋田ノーザンハピネッツ) のホームとなる予定
栃木県	栃木県総合運動公園陸上競技場 (令和2年完成) 延床面積42,037㎡	○	パフォーマンスルーム コンディショニングルーム カウンセリングルーム アスリートルーム 等 (とちぎスポーツ医科学センター計613.5㎡)	陸上競技場 (第1公認)、400mトラック9レーン (全天候型舗装)、雨天走路、サッカー場 (天然芝) 1面	県スポーツ協会 (指定管理)	<u>運動公園併設型</u> <u>スタジアム併設型</u> スタジアムはプロサッカーチーム (J2栃木SC) のホーム
新潟県	新潟県立鳥屋野潟公園新潟スタジアム (平成14年完成) 延床面積81,960㎡	○	ジム、ウォーキングコース、研修室栄養実習室、診療所 (新潟県健康づくりスポーツ医科学センター6,457㎡)	陸上競技場 (第1種公認) 400mトラック8レーン (第3種公認)、屋内練習場	県スポーツ協会 (指定管理)	<u>運動公園併設型</u> <u>スタジアム併設型</u> スタジアムはプロサッカーチーム (J1アルビレックス新潟) のホーム
埼玉県	埼玉県スポーツ科学拠点施設 (仮) (令和9年度開館)	(○)	体力測定室 データ分析室 トレーニング室 研修室 等 計1,880㎡想定	メインアリーナ 体育館 宿泊施設 レストラン 等	未定 (指定管理) ※P-PFI導入	<u>運動公園併設型</u>
高知県	高知県立春野総合運動公園 体育館 (昭和57年完成) 延床面積10,933㎡	○	体力測定室 等 (H31.4～高知スポーツ科学センター339.49㎡)	大アリーナ 小アリーナ 会議室 等	県スポーツ振興財団 (指定管理)	<u>運動公園併設型</u> <u>体育館併設型</u>

資料6

県営スポーツ施設のあり方に関する懇談会 構成員名簿

(五十音順、令和6年4月現在)

氏名	所属・職	区分
内城 寛子	学校法人富士大学経済学部准教授	学識経験者
菊池 透	岩手県商工会議所連合会専務理事	経済・観光
猿ヶ澤 顕洋	さくら税理士法人税理士	財務・経営
谷藤 節雄	公益財団法人岩手県体育協会副会長兼理事長	スポーツ団体
難波 悠	学校法人東洋大学大学院経済学研究科教授	学識経験者
平藤 淳	一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会会長	スポーツ団体
山本 康友	東京都公立大学法人東京都立大学都市環境学部客員教授	学識経験者

